

勉誠出版

デジタルアーカイブ学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード:903daf241a

(期限:~2021年7月31日)

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード:903daf241a (期限:~2021年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- ・**3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**

(※ 3,000円未満の場合は、300円を頂戴いたします。海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
デジタルアーカイブ学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



関連書籍一覧 注文書

* 割引価格は税込です。

ISBN	書名	編著者	出版年	定価 (税込)	割引価格	注文数
◆新刊						
【デジタルアーカイブ・ベーシックス】全5巻完結！						
20281-3	1 権利処理と法の実務	福井健策 監修／数藤雅彦 責任編集	2019/3	2,750	2,200	
20282-0	2 災害記録を未来に活かす	今村文彦 監修／鈴木親彦 責任編集	2019/8	2,750	2,200	
20283-7	3 自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村覚 責任編集	2020/4	2,750	2,200	
20284-4	4 アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	2,750	2,200	
20285-1	5 新しい産業創造へ	時実象一 監修／久永一郎 責任編集	2021/5	2,750	2,200	
30001-4	大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/5	3,850	3,080	
30002-1	書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/6	16,000	14,080	
20074-1	日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/3	3,850	3,080	
◆図書館学シリーズ						
【ライブラリーぶっくす】						
20045-1	図書館員をめざす人へ	後藤敏行 著	2016/4	2,200	1,760	
20057-4	ポストデジタル時代の公共図書館	植村八潮・柳与志夫 編	2017/6	2,200	1,760	
20055-0	トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間	岡部晋典 著	2017/8	2,200	1,760	
20061-1	司書のお仕事—お探しの本は何ですか？	大橋崇行 著／小曾川真貴 監修	2018/5	1,980	1,584	
20075-8	司書のお仕事 2—本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小曾川真貴 監修	2020/11	1,980	1,584	
20067-3	図書館の日本史	新藤透 著	2019/1	3,960	3,168	
20070-3	専門図書館探訪—あなたの「知りたい」に応えるガイドブック	青柳英治・長谷川昭子 共著／専門図書館協議会 監修	2019/10	2,200	1,760	
20069-7	世界の図書館から—アジア研究のための図書館・公文書館ガイド	U-PARL（東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門） 編	2019/4	2,640	2,112	
90039-9	ささえあう図書館—「社会装置」としての新たなモデルと役割（オンデマンド版）	青柳英治 編著／岡本真 監修	2021/3	1,980	1,584	
20081-9	変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟 著	2021/4	2,420	1,936	
【ネットワーク時代の図書館情報学】						
05427-6	図書館はコミュニティ創出の「場」—会員制ライブラリーの挑戦	小林麻実 著	2009/10	2,200	1,760	
05426-9	利用者志向のレファレンスサービス—その原理と方法	齋藤泰則 著	2009/10	2,200	1,760	
05430-6	情報管理と法—情報の利用と保護のバランス	新保史生 著	2010/10	2,200	1,760	
05428-3	メタデータの「現在」—情報組織化の新たな展開	谷口祥一 著	2010/2	1,870	1,496	
05429-0	デジタル書物学事始め—グーテンベルク聖書とその周辺	安形麻理 著	2010/9	2,200	1,760	
05432-0	情報行動—システム志向から利用者志向へ	三輪眞木子 著	2012/3	2,200	1,760	
【わかる！図書館情報学シリーズ】						
20501-2	1 電子書籍と電子ジャーナル	日本図書館情報学会研究委員会 編	2014/11	1,980	1,584	
20502-9	2 情報の評価とコレクション形成	日本図書館情報学会研究委員会 編	2015/10	1,980	1,584	
20503-6	3 メタデータとウェブサービス	日本図書館情報学会研究委員会 編	2016/11	1,980	1,584	
20504-3	4 学校図書館への研究アプローチ	日本図書館情報学会研究委員会 編	2017/11	1,980	1,584	
20505-0	5 公共図書館運営の新たな動向	日本図書館情報学会研究委員会 編	2018/10	1,980	1,584	
◆関連書籍						
20029-1	図説 よりすぐり国立国会図書館—竹取物語から坂本龍馬直筆まで	国立国会図書館 編	2014/10	3,080	2,464	
20066-6	戦争と図書館—英国近代日本語コレクションの歴史	小山騰 著	2018/11	4,180	3,344	
20058-1	ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み—国学から日本学へ	小山騰 著	2017/9	3,520	2,816	
20046-8	日本占領期の学校図書館—アメリカ学校図書館導入の歴史	今井福司 著	2016/5	5,500	4,400	
20053-6	学びと育ちを支える学校図書館	渡邊重夫 著	2016/8	2,640	2,112	
20012-3	専門図書館の人的資源管理	青柳英治 著	2012/1	5,280	4,224	

07123-5	図書館 この素晴らしき世界	藤野幸雄 著	2008/12	2,200	1,760	
22189-0	G・E・モリソンと近代東アジア—東洋学の形成と東洋文庫の蔵書	公益財団法人 東洋文庫 監修／岡本隆司 編	2017/9	3,080	2,464	
20030-7	アジア学の宝庫、東洋文庫—東洋学の史料と研究	東洋文庫 編	2015/3	3,080	2,464	
20078-9	アーネスト・サトウと蔵書の行方—『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山騰 著	2020/11	4,620	3,696	
22251-4	英国の出版文化史—書物の庇護者たち	清水一嘉 著	2019/10	4,180	3,344	
20047-5	アーカイブズと文書管理—米国型記録管理システムの形成と日本	坂口貴弘 著	2016/4	6,600	5,280	
22253-8	近世・近現代 文書の保存・管理の歴史	佐藤孝之・三村昌司 編	2019/10	4,950	3,960	
82254-7	パブリック・ヒストリー入門—開かれた歴史学への挑戦【オンデマンド版】	菅豊・北條勝貴 編	2021/4	5,280	4,224	
20071-0	文化情報学事典	村上征勝 監修	2019/12	19,800	15,840	
20031-4	文化情報学ガイドブック 情報メディア技術から「人」を探る—Digital Humanities for Arts and Cultures デジタル・ヒューマニティーズ	赤間亮・鈴木桂子・八村広三郎・矢野桂司・湯浅俊彦 編	2014/11	1,980	1,584	
07124-2	情報検索入門ハンドブック—データベース、Web、図書館の利用法	松本勝久 著	2008/8	1,980	1,584	
20060-4	入門 デジタルアーカイブ—まなぶ・つくる・つかう	柳与志夫 責任編集	2017/12	2,750	2,200	
20716-0	【書物学 16】書物学 第 16 巻 特殊文庫をひらく—古典籍がつなぐ過去と未来	編集部 編	2019/7	1,650	1,320	
20718-4	【書物学 18】書物学 第 18 巻 蔵書はめぐる—海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	1,980	1,584	

お申し込みは

Web Site●<https://bensei.jp>

FAX●03-5215-9025

E-mail●info@bensei.jp

勉誠出版

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2 丁目 18-4
TEL 03-5215-9021

ご氏名	備考欄 ＊公費・私費の区別をお知らせください ＊公費の場合には、必要書類・宛名・日付の有無をお書きください
ご住所	
電話番号	

デジタルアーカイブ・ベーシックス 5

新しい、産業創造へ

時実象一[監修]
久永一郎[責任編集]

デジタルアーカイブを
活用・運用していくための
基礎を学ぶことのできる
必読のシリーズ

デジタルアーカイブが産業の未来を切り拓く

日本の企業はデジタルアーカイブをどのように利活用し、
それをビジネスに昇華しているのか？

先進的な企業の取組みを紹介することで、
産業におけるデジタルアーカイブの可能性を探る。

「デジタルアーカイブ・ベーシックス」全5巻、ここに完結！

定価 **2,750** 円(税込)・本体2,500円

A5判並製カバー装・288頁
ISBN 978-4-585-20285-1・C1000
2021年5月刊行



目次

はしがき●時実象一

序論 デジタル技術とデジタルアーカイブ産業の可能性●島裕

第1部 デジタルアーカイブの活用

第1章 世界のビジネス・アーカイブズ概観●松崎裕子

第2章 ポーラ文化研究所における文化資産の展開

——「化粧文化データベース」を中心に●川上博子

第3章 美術と歴史の分野における画像ライセンスビジネス●國谷泰道

第4章 フィジカルからデータにいたるコンテンツアーカイブの課題とビジネス展開●緒方靖弘

第2部 デジタルアーカイブ産業を支える技術革新

第5章 情報システム開発の視点から見る日本のデジタルアーカイブ技術の水準●川島健一

第6章 座談会 デジタルアーカイブ技術開発の動向●大向一輝・肥田康・手嶋毅 (司会)岡本真

第7章 アートの世界を変えるブロックチェーン●太田圭亮

第3部 デジタルアーカイブ産業の兆し

第8章 「デジタルアーカイブ産業」の萌芽と期待●茅屋早百合・小林慎太郎

第9章 デジタルアーカイブを活用した自治体史編さん事業の提案●太田亮子

第10章 映像保存の現在地とこれから

——変わりゆくデジタル技術・長期保存メディア・制度を見つめて●藤原理子

第11章 気象ソリューションで世界企業に●安部大介

あとがき●久永一郎

監修 時実象一(ときざね・そういち)

1944年生まれ。東京大学大学院情報学環高等客員
研究員。専門はデジタルアーカイブ、学術情報、
ウェブ検索、ウィキペディア。主な著書に『研究者
のコピペと捏造』(樹村房、2018年)、『コピペと捏
造』(樹村房、2016年)、『デジタル・アーカイブの最
前線』(講談社、2015年)などがある。

責任編集 久永一郎(ひさなが・いちろう)

1967年生まれ。大日本印刷株式会社マーケティング
本部事業戦略ユニットヒューマン・エンジニアリン
グ・ラボ室長。専門はエクスペリエンスデザイン・イ
ンタラクシオンデザイン。

書 名	部 数
第5巻…新しい産業創造へ 時実象一[監修]/久永一郎[責任編集]	部
第1巻…権利処理と法の実務 福井健策[監修]/数藤雅彦[責任編集] 978-4-585-20281-3 C1000 2019年3月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第2巻…災害記録を未来に活かす 今村文彦[監修]/鈴木親彦[責任編集] 978-4-585-20282-0 C1000 2019年8月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第3巻…自然史・理工系研究データの活用 井上透[監修]/中村覚[責任編集] 978-4-585-20283-7 C1000 2020年4月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第4巻…アートシーンを支える 高野明彦[監修]/嘉村哲郎[責任編集] 978-4-585-20284-4 C1000 2020年12月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
デジタルアーカイブ・ベーシックス 全5巻 定価 各 2,750 円(税込)・本体2,500円 A5判並製カバー装・各巻208頁～312頁	セット

ご送付先ご住所(通信欄)

「デジタルアーカイブ・ベーシック」シリーズ 全5巻完結!

権利処理と法の実務 第1巻

福井健策[監修]／数藤雅彦[責任編集]

シリーズ発刊にあたって デジタルアーカイブ学会会長◎長尾真／まえがき◎福井健策／デジタルアーカイブの構築に関わる法制度の概観——最近の法改正等を中心に◎生貝直人

第1部 理論編

著作権の諸問題(1) 保護期間満了(パブリックドメイン)の判断基準◎数藤雅彦・橋本阿友子／著作権の諸問題(2) オープンワークスへの対応◎瀬尾太一／自治体が運営する災害デジタルアーカイブ——肖像・プライバシー等を巡る現状と課題◎長坂俊成／所有権の諸問題——オープンフィルムの寄贈に関する問題を例に◎山元裕子・【特別寄稿】とちぎあきら

978-4-585-20281-3 | C1000 | 2019年3月
定価 2,750 円(税込)・本体 2,500 円

第2部 実践編

公共機関デジタルアーカイブ構築の実務と問題点——国立国会図書館を例に◎井上奈智／アニメーション・アーカイブから見る資料を取り巻く権利とその問題点——I.Gアーカイブの事例より◎山川道子・金木利憲／美術全集のデジタルアーカイブ構築の実務と問題点◎清水芳郎／コラム:映像コンテンツのデジタルアーカイブのための権利処理実務◎宮本聖二／デジタルアーカイブのライセンス表示についての動向◎時実象一／デジタルアーカイブ活用促進のための新しい法的環境の在り方◎福井健策・藤森純
あとがき◎数藤雅彦／執筆者一覧

災害記録を未来に活かす 第2巻

今村文彦[監修]／鈴木親彦[責任編集]

震災・災害デジタルアーカイブの今日的意義——新しい防災文化の創生を目指して◎今村文彦

第1部 震災・災害の記録を残すことの意義と目的

震災・災害アーカイブの役割と歴史の変遷と現状◎柴山明寛／放送局による東日本大震災アーカイブの意義——NHK東日本大震災アーカイブを事例に◎宮本聖二／震災の記録を横断する——国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎ)の意義と課題◎伊東敦子／前田紘志

第2部 復興に向けて人々の声、地域の歴史を残す

978-4-585-20282-0 | C1000 | 2019年8月
定価 2,750 円(税込)・本体 2,500 円

東北からの声——口承記録デジタルアーカイブから防災・減災のためのアプリケーションへ◎フラヴィア・フルコ、ロビン・オディ、デビッド・スレイター／「命の軌跡」は訴える——東日本大震災、地方紙とデジタルアーカイブ◎鹿糠敏和／市民の力で地震史料をテキスト化「みんなで翻刻」◎橋本雄太

第3部 未来のためのデジタルアーカイブ——震災・災害情報の利活用

災害の非可逆性とアーカイブの精神——デジタル台風・東日本大震災デジタルアーカイブ・メモリーグラフの教訓◎北本朝展／歴史地震研究と日記史料有感地震データベース◎西山昭仁／防災科学技術研究所の災害資料とデジタルアーカイブ——自然災害資料の収集・整備・発信◎三浦伸也、鈴木比奈子／記憶の解凍——資料の「フロー」化とコミュニケーションの創発による記憶の継承◎渡邊英徳／あとがき◎鈴木親彦／執筆者一覧

自然史・理工系研究データの活用 第3巻

井上透[監修]／中村覚[責任編集]

自然史・理工学デジタルアーカイブの今日的意義◎井上透

第1部 研究データの活用にむけて

科学データのデジタルアーカイブにおける必須条件「オープンデータ」◎大澤剛士／研究データ活用の国際的動向——世界の自然史・理工学DA活用◎南山泰之

第2部 自然史・理工学DAの社会的活用

オープンサイエンスと天文学——現状と課題◎玉澤春史／自然史博物館×デジタルアーカイブ——オープンサイエンスを拓く一例としての魚類写真資料データベース◎大西亘

978-4-585-20283-7 | C1000 | 2020年4月
定価 2,750 円(税込)・本体 2,500 円

自然史情報のデジタルアーカイブと社会的問題への利用——地球規模生物多様性情報機構(GBIF)の機能とそのデータの活用◎細矢剛／環境学×教育——森の感性情報アーカイブ・サイバーフォレストを用いた環境教育◎中村和彦

第3部 自然史・理工系研究データの学際的利用

南方熊楠データベース—文理統合・双方向型デジタルアーカイブ◎岩崎仁／異分野融合で切り拓く歴史的オーロラ研究——オーロラ4Dプロジェクトの経験から◎岩橋清美／東京大学工学史料キュレーション事業の展開—工学・情報理工学図書館を実例に◎市村櫻子／あとがき◎中村覚

アートシーンを支える 第4巻

高野明彦[監修]／嘉村哲郎[責任編集]

まえがき 高野明彦(国立情報学研究所)

Scene 0 ゼロ地点のDA

アート×デジタルアーカイブのこれまでとこれから 青柳正規

Scene 1 アートシーンにおけるデジタル対応の現況

デジタルアーカイブはどのようにしてアートの振興に貢献するか?◎太下義之／デジタルアーカイブ・ピット——相互関与し複層化する、作品環境世界◎田尾圭一郎／アートのデジタルコンテンツの権利処理に関わる法的問題について◎酒井麻千子

Scene 2 デジタル技術とアート現場のDA

978-4-585-20284-4 | C1000 | 2020年12月
定価 2,750 円(税込)・本体 2,500 円

メディアアート領域にとつてのデジタルアーカイブ——国内外の動向◎森山朋絵／デジタル技術と現代のアートの保存◎平論一郎

Scene 3 パフォーマンスとアートのDA

早稲田大学演劇博物館のデジタルアーカイブの現状と課題◎中西智範／土方巽アーカイヴ—実験的アーカイブの理念と活動◎森下隆／日本のオペラアーカイブの現状と課題◎石田麻子・吉原潤／〈服装・身装文科デジタルアーカイブ〉の現在と今後の課題◎高橋晴子

Scene 4 ミュージアムとアートのDA

オープンなデジタルミュージアム——多様な価値の共存と高い規模拡張性◎金子晋丈／国立博物館所蔵品統合検索システム「ColBase」——過去・現在・未来◎村田良二／文化遺産オンライン試験公開版の構築◎丸川雄三／ヨコハマ・アート・LOD その成り立ちと構成◎相澤勝・小林厳生／アート・プロジェクトの現場で取り組むアーカイブの試み◎井出竜郎／あとがき◎嘉村哲郎

新しい産業創造へ 第5巻

時実象一[監修]／久永一郎[責任編集]

はしがき 時実象一

序論 デジタル技術とデジタルアーカイブ産業の可能性◎島裕

第1部 デジタルアーカイブの活用

世界のビジネス・アーカイブス概観◎松崎裕子／ポラ文化研究所における文化資産の展開——「化粧文化データベース」を中心に◎川上博子／美術と歴史の分野における画像ライセンスビジネス 國谷泰道／フィジカルからデータにいたるコンテンツアーカイブの課題とビジネス展開◎緒方靖弘

第2部 デジタルアーカイブ産業を支える技術革新

情報システム開発の視点から見る日本のデジタルアーカイブ技術の水準◎川島健一

978-4-585-20285-1 | C1000 | 2021年5月
定価 2,750 円(税込)・本体 2,500 円

座談会 デジタルアーカイブ技術開発の動向◎大向一輝・肥田康・手嶋毅 (司会)岡本真／アートの世界を変えるブロックチェーン◎太田亮亮

第3部 デジタルアーカイブ産業の兆し

「デジタルアーカイブ産業」の萌芽と期待◎星屋早百合・小林慎太郎／デジタルアーカイブを活用した自治体史編さん事業の提案◎太田亮子／映像保存の現在地とこれから—変わりゆくデジタル技術・長期保存メディア・制度を見つめて◎藤原理子／気象ソリューションで世界企業に◎安部大介／あとがき◎久永一郎

おおやそういち

大宅壮一文庫解体新書

雑誌図書館の全貌とその研究活用

阪本博志〔編〕

大宅壮一文庫、開設50周年！
文庫の全てに迫る！

大宅壮一が収集した膨大な雑誌のコレクションを
基礎として設立された大宅壮一文庫。
二〇二一年、開設から五〇年を迎える大宅壮一文庫について、
概要から、その誕生の歴史、そして文庫を活用した
研究の実践例まで、すべてを網羅した解説書。

＊大宅壮一（一九〇〇―一九七〇）とは：

日本のジャーナリスト、ノンフィクション作家、評論家。時代の風潮を
見事に裁断する独特な社会評論や人物評論で、長くマスコミ界で
活躍。明快な是非論で広く一般大衆の支持を得た。また、「一億
総白痴化」、「恐妻」、「ロコミ」など、多数の造語を生んだ。

本書の特色

①「雑誌の図書館」大宅壮一文庫の概要、歴史、利用方法などを、詳細に解説。

②実際に大宅壮一文庫を活用している執筆者陣が、文庫を利用することでどういったことが見えてくるかをまとめた論考を収録。

編者プロフィール

阪本博志（さかもと・ひろし）

帝京大学文学部社会学科教授。専門は社会学・メディア史・出版文化論。主な著書に『平凡』の時代―一九五〇年代の大衆娯楽雑誌と若者たち（昭和堂、二〇〇八年）、第30回日本出版学会賞奨励賞・第18回橋本峰雄賞（『江戸川乱歩大事典（落合教幸・藤井淑慎・渡辺憲司との共編）勉誠出版、二〇二二年）などがある。

定価 三、八五〇円（税込）・本体 三、五〇〇円

A5並製カバー装・三〇〇頁

二〇二一年五月刊行

ISBN 978-4-585-30001-4 C1000

目次

第一章

索引的思考

カラー／絵／はじめに◎大宅映子／本書の構成◎阪本博志
―無思想人◎大宅壮一における知の技法◎有馬学
コラム① ノーパン喫茶と大宅文庫
週刊誌がおしえてくれること、くれないこと◎井上章一

第二章

大宅壮一と大宅壮一文庫◎阪本博志

①大宅壮一文庫の誕生②大宅壮一文庫の発展③大宅壮一文庫のこれから
コラム② 大宅文庫について思うこと◎三鬼浩子

第三章

雑誌の図書館 大宅壮一文庫

その所蔵資料と利用方法◎鴨志浩
①大宅壮一文庫の概要②大宅壮一文庫の迷宮書庫
③大宅壮一文庫の出版物④大宅壮一文庫の索引・検索システム
⑤大宅壮一文庫の資料閲覧と各種サービス
コラム③ 長持としての大宅文庫◎永井良和

第四章

大宅壮一文庫の活用(1) 横断的研究

雑誌アカイフ大宅壮一文庫 その現在と未来◎前島志保
二世紀における大宅文庫の可能性◎鳥羽耕史
受験・教育雑誌と文学 大宅壮一文庫所蔵誌をきっかけとして◎大原祐治
出版社会週刊誌の誕生 ―週刊新潮と文学との関わりを中心に◎加藤邦彦
コラム④ 「心の時代」をどうやって可視化するのか◎牧野智和

第五章

大宅壮一文庫の活用(2) テーマ研究

大宅壮一文庫雑誌記事索引にみる性風俗の歴史
―「トルコ風呂」の元祖、東京温泉を例に◎光石亜由美
寄場の表裏 大衆雑誌にみる高度経済成長期の「山谷」◎石川巧
話芸を書き残す 漫才作者秋田実と雑誌◎後藤美緒
間テクニク存在としての「スケパン」◎難波功十
コラム⑤ 書物のない場所 戦後文学に描かれた「書物」◎多田蔵人
あとがき◎阪本博志



書名	部数
おおやそういち 大宅壮一文庫解体新書 雑誌図書館の全貌とその研究活用 阪本博志〔編〕	部
定価 3,850円（税込）・本体 3,500円 A5判並製カバー装・300頁 ISBN 978-4-585-30001-4・C1000 2021年5月刊行	
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

藤本幸夫

〔ふじもと・ゆきお〕富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞・恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡 鑑研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐ 本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

執筆者一覧

- 第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤圭子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部：住吉明彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

定価 一七、六〇〇円（税込）
（本体 一六、〇〇〇円）
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書 名		部 数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 [編]	定価17,600円・本体16,000円
		B5判上製カバー装・896頁
		2021年6月刊行
		ISBN978-4-585-30002 C3000
ご送付先ご住所（通信欄）		

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

〈詳細目次〉

序文

藤本幸夫

第一部 書物のかたち・書物のジャンル

佐々木孝浩	〈古写本〉	日本の写本——装訂を中心として
柏崎順子	〈江戸版〉	初期出版界の様相
木村八重子	〈草双紙〉	「草双紙」の史的展望
棚橋正博	〈黄表紙〉	黄表紙
佐藤至子	〈合巻〉	合巻における自主規制 ——『三国太郎再来伝』から『現世扶桑太郎』へ
鈴木圭一	〈中本（人情本）〉	中本二編三冊意識
石上阿希	〈春画・艶本〉	「書籍目録」にみる枕絵と好色本
大久保純一	〈錦絵〉	錦絵とは
湯浅淑子	〈おもちゃ絵〉	江戸のおもちゃ絵
鈴木俊幸	〈草紙類〉	上方の草紙類をめぐる
万波寿子	〈仏書〉	日本の仏書
鈴木達彦	〈医書〉	日本漢方の特質と日本医書

第二部 印刷・活字・技術

住吉朋彦	〈宋版・元版〉	宋元版研究の道程
堀川貴司	〈五山版〉	五山版をどう考えるか
長澤孝三	〈和刻本〉	「和刻本」について
豊島正之	〈キリシタン版〉	キリシタン文獻
林進	〈古活字版〉	角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
高木浩明	〈古活字版〉	古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
森上修	〈古活字版〉	古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
小秋元段	〈出版史料としての反古〉	東北大学附属図書館漱石文庫所蔵古活字版『太平記鈔・音義』表紙の復元的考察
渡辺守邦	〈出版史料としての反古〉	表紙裏反古・再考
橋口侯之介	〈彫りと摺り〉	彫師・摺師から見た日本の出版形態
永井一彰	〈版木〉	板木の節

第三部 本屋・商業出版・蔵書

鈴木俊幸	〈日本近世の本屋〉	本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特質
塩村耕	〈日本近世前期の商業出版〉	近世前期の出版界と西鶴
長友千代治	〈貸本屋〉	貸本屋の横顔
岡村敬二	〈蔵書・蒐書（日本）〉	蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
大沼晴暉	〈蔵書・蒐書（日本）〉	田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
大沼晴暉	〈日中韓の商業出版〉	日中韓坊刻本の比較研究或いは此等二か国書物の比較研究のために
大木康	〈中国の商業出版〉	中国書肆史考——近世を中心に
大塚秀高	〈中国の商業出版〉	坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
金文京	〈中国の商業出版〉	明代建陽の商業出版と通俗小説
上原究一	〈中国の商業出版〉	明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
高橋智	〈蔵書・蒐書（中国）〉	中国の蔵書家について
藤本幸夫	〈朝鮮の商業出版〉	朝鮮坊刻本攷
李胤錫	〈朝鮮の商業出版〉	朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
全相昱	〈朝鮮の商業出版〉	坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき 藤本幸夫
執筆者 覧

日本の図書館建築

建築からプロジェクトへ

五十嵐太郎・李明喜 [編]

戦後日本の公共図書館建築の歴史をたどる——

日本の公共図書館は、いわゆる「箱モノ」から、コミュニケーションなどを重視した「有機的なモノ」へと変化を遂げている。こうした変化はいつごろから見られるようになってきたのだろうか？

戦後間もない1950年代から、2020年代の現在まで、全国各地にある特色ある公共図書館を紹介することで、図書館建築の歴史的流れを追った一冊。

掲載図版
(フルカラー!)
200
点以上



目次

第Ⅰ章——黎明期～確立期 1955～70年代 図書館が根付いた時代の建築

大阪府立中之島図書館●神奈川県立図書館●北九州市立八幡図書館●東京都立日比谷図書館
(現・千代田区立日比谷図書文化館)●国立国会図書館●佐賀県立図書館●ほか

第Ⅱ章——発展期 80年代～2000年前後 多様化する図書館のデザイン

北九州市立中央図書館●軽井沢町立図書館●山形県立図書館●小牧市立図書館●金沢市立玉川
図書館●日野市立高幡図書館●杉並区立中央図書館●岡山市立中央図書館●ほか

第Ⅲ章——変革期 00年代～現在 新しい状況がもたらす図書館建築の変化

仙台市民図書館／せんだいメディアテーク●国立国会図書館国際子ども図書館●国立国会図
書館関西館●福井県立図書館・福井県文書館・福井ふるさと文学館●ほか

第Ⅳ章——これからの図書館建築に向けて 現実空間と情報空間が重なった時代の 環境としての図書館

本書の特色

●第1章から第3章では、全国各地にある公共図書館60館以上を選び、その建築における特色を紹介。掲載写真は館外・館内
含め、すべてカラーで掲載(一部モノクロあり)。

●第4章では現在進行形で活躍中の若手建築家へのインタ
ビューを掲載。公共図書館をどのように設計したかなど、建築
家は図書館建築に対してどのように臨んでいるかを知ることが
できる。

●これまでに図書館の建築を扱った書籍はいくつか刊行され
ているが、1950年代から現在までの最新の流れを追ったもの
はなく、本書が初。

本体 3,500 円 (+ 税)

A5判並製カバー装・336頁
ISBN 978-4-585-20074-1・C1000
2021年3月刊行

編者プロフィール

五十嵐太郎(いがらし・たろう)

1967年生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。東北大学教授。専門は都市・建築理論。主
な著書に、『建築の東京』(みすず書房、2020年)、『日本建築入門』(ちくま新書、2016年)、『現代
建築に関する16章』(講談社、2006年)などがある。ヴェネツィアビエンナーレ国際建築展
2008の日本館コミッション、あいちトリエンナーレ2013の芸術監督、「インボッシ
ブル・アーキテクチャー」展(2019-2020年)の監修などをつとめる。

李明喜(り・みよんひ)

1966年生まれ。デザイナー。アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg)取締役 CDO
(最高デザイン責任者)。1998年、デザインチームmattを立ち上げ、商業 & 公共施設の空間
デザインやアート・キュレーション業務を行う。2014年より、arg社のデザイナーとし
て、須賀川市、西ノ島町、長野県などで、図書館を中心とした新しい文化施設づくりや地
域のデザインにあたっている。図書館管理運営計画、ミュージアムキュレーションなど
を担当した「須賀川市民交流センターtette」は、2019年グッドデザイン金賞を受賞。

書 名	部 数
日本の図書館建築 建築からプロジェクトへ 五十嵐太郎・李明喜 [編]	本体 3,500 円 (+ 税) A5判並製カバー装・336頁 ISBN 978-4-585-20074-1・C1000 2021年3月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

図書館員をめざす人へ

後藤敏行 [著]

1977年宮城県仙台市生まれ。日本女子大学専任講師。東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了、博士(図書館情報学)。東北大学附属図書館(文部科学事務官、図書系職員)、青森中央短期大学(専任講師)を経て現職。専門は図書館情報学・人文社会情報学。主な著書に『図書館の法令と政策』(樹村房、2015年)、『図書館・博物館・文書館の連携(シリーズ図書館情報学のフロンティア No.10)』(共著、勉誠出版、2010年)などがある。

懂れているだけでは分らない——。
司書・司書教諭になりたい人、必見!

皆さんは、図書館員がどのような仕事をするか知っていますか? また、どうすればなれるか知っていますか?

本書は図書館で働きたい皆さんを、基礎知識から実践まで、じっくりガイドします。

図書館員へのインタビューも掲載、現場の声を届けます。

図書館員になるためのガイドブック&インタビュー集の決定版!

第Ⅰ部◎基礎編

第1章 図書館、図書館員、図書館員の仕事

第2章 図書館員になるには
若手図書館員へのインタビュー

第Ⅱ部◎実践編

公共図書館

国立情報学研究所および大学図書館

寄稿教壇に立つ図書館員: 情報リテラシー教育業務を担当する大学図書館員の一日

学校図書館(1) 司書教諭

学校図書館(2) 学校司書

国立国会図書館

専門図書館

第Ⅲ部◎これからの図書館員像

これからの図書館員像

図書館員をめざすあなたへ

文献案内

求人情報源

おわりに

◎
目次



本体2,000円(+税)

四六判並製カバー装・240頁

2016年4月刊行

ISBN978-4-585-20045-1 C1000

◎図書館員になるための最新情報を掲載。基礎的な知識から、それぞれの図書館の種類に合わせた実践的内容までを網羅。求人案内などの情報源も紹介し、図書館員になるまでの道のりをわかりやすくガイドする。

◎第一線の現場で働く図書館員にインタビュー。それぞれの働き方の実際を知ることができる。

◎図書館員の未来像を提示。これからの図書館員に新たに求められるスキルや知識について解説し、図書館員に向けて学ぶ人々だけでなく、すでに図書館員に就いている人にも役立つ内容を盛り込んでいる。

本書の特長

書 名	部 数
図書館員をめざす人へ 後藤敏行 [著]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

ポストデジタル時代の 公共図書館

植村八潮（専修大学文学部教授）
柳 与志夫（東京大学特任教授）

[編]

本体 2,000 円（+ 税）

四六判並製カバー装・224 頁

2017 年 6 月刊行

ISBN 978-4-585-20057-4 C1000

脱・「図書館」!? その未来には、何が待ちうけているのか?

ウェブの世界が席卷するなか、この 20 年間問われていたのは、
情報の「ハブ」であるべき公共図書館のデジタル化だった。
さらに時代は過ぎ、もはや議論は次の展開に入ろうとしている。
先ずネットでしらべることが当然視される中で、公共図書館はどうあるべきか。
本書はその問いに答えるために、
電子書籍市場の実態や米国図書館、日本の大学図書館との比較を通して、
ポストデジタル時代に対応する公共図書館の未来像を活写する。

【目次】

まえがき 植村八潮

- 1 電子書籍・電子図書館が抱える「下部構造的」課題 吉井順一
 - 2 米国公共図書館の電子書籍サービスの発展 伊藤倫子
 - 3 電子書籍のもたらす変革と図書館の対応 植村八潮
 - 4 日本の大学図書館における電子コンテンツサービスの現状と問題点 入江伸
 - 5 公共図書館におけるデジタルコレクションとデジタルサービスの位置づけ 野口武悟
 - 6 電子図書館からデジタルアーカイブへ 渡邊太郎
 - 7 電子書籍と公共図書館：デジタルアーカイブという可能性 柳与志夫・松永しのぶ
 - 8 公共図書館の未来とデジタル化への展望 田村俊作
- あとがき 柳与志夫

本書の特色

1. 図書館の電子化の問題を分析。公共図書館だけでなく大学図書館や出版社・書店などに話題を広げ、多角的に論じた。
2. 電子書籍の現状を、日本だけでなく海外、主にアメリカとの比較の下に論じた。
3. 平易な文章で、図書館関係者のみならず一般の図書館ユーザにも読みやすい内容になっている。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす ポストデジタル時代の公共図書館 植村八潮／柳 与志夫 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

ライブラリーぶっくす

トップランナーの

図書館活用術

才能を引き出した情報空間

本体 2,000 円 (+税)

A5 判並製カバー装・312 頁
ISBN 978-4-585-20055-0 C1000
2017 年 8 月刊行

岡部晋典 [著]

落合陽一(メディアアーティスト)・清水亮(株式会社ユビキタスエンターテインメント代表取締役社長)・前野ウルド浩太郎(バッタ博士)・三上延(小説家)・竹内洋(教育社会学者)・谷口忠大(人工知能研究者、ビブリオバトル考案者)・結城浩(技術ライター、プログラマ)・荻上チキ(評論家)・大久保ゆう(青空文庫、翻訳)・大場利康(国立国会図書館員)・花井裕一郎(演出家、映像作家)・原田隆史(図書館情報学者)

総勢 12 人へのインタビューを掲載!!

各界のトップランナー12人は
いかに図書館で鍛えられたか。

彼らは情報空間から何を引っ張り出し、
どのようにキャリアを築いてきたのか。
彼らは今後、何を目指していくのか。
そして、そんな知のありかたを支える情報基盤は、
果たしてどのようなものだろうか。
飛び交う学術用語。
初心者であっても読めるように配置された過剰なまでの註。
彼らの情報行動を丹念に辿ると同時に、
利用者の姿から図書館の価値を描き出し、
未来への展望を探る。
これまでにない視座からの、
全く新しい図書館論、読書論、情報活用論。

【目次】

はじめに

- I スペシャリストを鍛えた図書館
 - II プロフェッショナルの使い方
 - III Webの時代の図書館を活用する人々
 - IV これからの図書館を作っている人々
- あとがき

【著者紹介】

岡部晋典(おかべ・ゆきのり)

1982年愛知県生まれ。筑波大学図書館情報専門学群卒、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士前期課程修了、後期課程単位取得退学。博士(図書館情報学)。いくつかの大学の専任講師を経て、現在、同志社大学学習支援・教育開発センター助教。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間 岡部晋典 [著]	本体 2,000 円 (+税) A5 判並製カバー装・312 頁 ISBN 978-4-585-20055-0 C1000 2017 年 8 月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

ライブラリーぶっくす

司書のお仕事

お探しの本は何ですか？

【著】 大橋崇行 (東海学園大学 准教授)

【監修】 小曾川真貴 (犬山市立図書館司書・日本図書館協会協会認定司書)

本体 1,800 円 (+税)

四六判並製カバー装・256 頁
ISBN 978-4-585-20061-1 C0000
2018 年 4 月刊行

司書って、どんな仕事をしてるの？



本書は、司書課程で勉強したいと思っている高校生、大学生、社会人や、司書という仕事に興味を持っている方に向けて、司書の仕事をストーリー形式でわかりやすく伝える1冊。

実際に司書として働いている方を監修に迎え、各地の図書館司書の方々からも話を聞いた。

うらがわ
読めばわかる、司書の世界！

【目次】

はじめに

第1章 NDC分類の悪戯

コラム◎NDC分類
コラム◎図書館員と司書
コラム◎司書のお仕事

第2章 謎解きは選書の前に

コラム◎YA(ヤングアダルト)書籍
コラム◎図書館のイベント企画

第3章 初恋レファレンス

コラム◎レファレンス・サービス
コラム◎学校図書館と公共図書館

おわりに

【本書の特徴】

- 司書職の日常を、分かりやすいストーリー形式で解説。
- 「本の装備」、「選書会議」等々…、実際の現場で使用する専門用語を、現役の司書が解説。各章末には仕事にまつわるコラムを附す。

【著者プロフィール】

大橋崇行(おおはし たかゆき)

作家、文芸評論家、東海学園大学人文学部准教授。博士(文学)。

小説の著書に『レムリアの女神』(未知谷)、『妹がスーパー戦隊に就職しました』(PHP研究所)など。評論の著書に『ライトノベルから見た少女／少年小説史』(笠間書院)などがある。

平成25年度全国大学国語国文学会「文学・語学」賞。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 司書のお仕事——お探しの本は何ですか？ 大橋崇行 [著] / 小曾川真貴 [監修]	本体 1,800 円 (+税) 四六判並製カバー装・256 頁 ISBN 978-4-585-20061-1 C0000 2018 年 4 月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

ライブラリーぶっくす

司書のお仕事 2

本との出会いを届けます

〔著〕 大橋崇行 (東海学園大学 准教授)

〔監修〕 小曾川真貴 (犬山市立図書館司書・日本図書館協会協定司書)

本体 1,800 円 (+税)

四六判並製カバー装・207 頁
ISBN 978-4-585-20075-8 C0000
2020 年 10 月刊行

司書って、どんな仕事してるの？

司書課程で勉強したいと思っている中高生、大学生、社会人や、司書という仕事に興味を持っている方に向けて、司書の仕事をストーリー形式でわかりやすく伝える。



(あらすじ)

公務員試験を突破して味岡市の職員に採用された稲嶺双葉(いなみね・ふたば)は、味岡市立図書館で司書として勤務してはや半年、多岐にわたる業務を行う中で、日々成長していた。

ある日、同僚に展示の入れ替えの相談をするも、委託契約の業務外ということで断られてしまう。同じ職場にいても、勤務形態の違いで業務内容が大きく異なることを知り…。

【本書の特徴】

- 司書の日常を、ストーリーとコラムでわかりやすく楽しく読める。
- 「除架と除籍」、「行政支援レファレンス」等…、専門用語や業務を、現役の司書が解説。各章末には仕事にまつわるコラムを附す。

読めばわかる、司書の世界！

【目次】

はじめに

第1章 図書館の幽霊

コラム◎特別整理期間
コラム◎図書館で司書として働くには

第2章 行政と法と図書館と

コラム◎図書館とデータベース
コラム◎読書バリアフリー法
コラム◎図書館とゲーム
コラム◎図書館と地域連携事業

第3章 本と人とが会う場所

コラム◎寄贈図書
コラム◎図書館と生涯学習
コラム◎図書館での資料保存

おわりに

【著者プロフィール】

大橋崇行(おおはし たかゆき)

作家、文芸評論家、東海学園大学人文学部准教授。博士(文学)。

小説の著書に『遥かに届くきみの聲』(双葉社)、『浅草文豪あやかし草紙』(一迅社)など。

平成25年度全国大学国語国文学会「文学・語学」賞。

第1回双葉文庫ルーキー大賞受賞。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 司書のお仕事 2 本との出会いを届けます 大橋崇行〔著〕／小曾川真貴〔監修〕	本体 1,800 円 (+税) 四六判並製カバー装・207 頁 ISBN 978-4-585-20075-8 C0000 2020 年 10 月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

図書館の日本史

新藤 透 著

日本の図書館の
歴史を読み解く、
初の概説書！

現在私たちの身近にある図書館は、
いつ、どのようにして生まれたのか？
蔵書の貸借の実態、情報の流通の様子、
利用者同士のコミュニティの視点から、
日本における図書館を、
古代から現代まで通史的に俯瞰した、
画期的一冊！

本書の特色

- ① これまでは各時代ごとでしかまとめられてこなかった、日本の図書館の歩みを、古代から現代までの変遷を踏まえて、通史的に読むことができる。
- ② 近世（江戸時代）から近代（明治時代）に変わる際に、西洋における図書館の概念が持ち込まれ、それまでとは図書館に対する考え方が一変した点についても言及。また、現代におけるマイクロライブラリーなど、新しい試みについても取り上げる。

【目次】

序章 「図書館」とは何か

第一章 古代の図書館

- 第一節 図書の誕生と図書館の起源
- 第二節 飛鳥時代の図書館
- 第三節 奈良時代の図書館
- 第四節 平安時代の図書館
- 第五節 古代の図書館のまとめ

第二章 中世の図書館

- 第一節 鎌倉時代の図書館
- 第二節 南北朝・室町・戦国の図書館
- 第三節 中世の図書館のまとめ

第三章 近世の図書館

- 第一節 将軍の図書館
- 第二節 大名の図書館
- 第三節 国学者の「図書館」
- 第四節 庶民の「図書館」と情報ネットワーク
- 第五節 近世の図書館のまとめ

第三章 近代の図書館

- 第一節 明治の図書館
- 第二節 大正の図書館
- 第三節 昭和戦前の図書館
- 第四節 昭和戦後期の図書館

終章 コミュニティとしての図書館の「復活」

日本図書館史の二つの潮流
マイクロ・ライブラリーと新しいコミュニティの場

おわりに／索引

著者プロフィール

新藤透（しんとう・とる） 一九七八年、埼玉県熊谷市生まれ。二〇〇六年、筑波大学大学院博士後期課程図書館情報メディア研究科修了。博士（学術）。現在、山形県立米沢女子短期大学准教授、（株）歴史と文化の研究所客員研究員。図書館情報学、歴史学（日本近世史）専攻。著書に、『図書館と江戸時代の人びと』（柏書房、二〇一七年）がある。



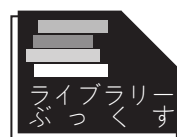
本体 3,600 円（+税）

四六判並製・400 頁
ISBN978-4-585-20067-3 C0000
2019年1月刊行

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 図書館の日本史 新藤透〔著〕	本体 3,600 円（+税） 四六判並製・400 頁 ISBN978-4-585-20067-3 C0000 2019年1月刊行
ご送付先ご住所（通信欄）	

専門図書館探訪

あなたの「知りたい」に応えるガイドブック



青柳英治／長谷川昭子〔共著〕 専門図書館協議会〔監修〕

本体 2,000円(+税)

A5判並製カバー装・152頁

2019年10月刊行

ISBN978-4-585-20070-3 C0000

全ページフルカラーで所蔵資料やサービスなど 専門図書館61館の魅力をご紹介します！

全国の特徴ある図書館を文章と写真で案内。

アクセス方法や開館・閉館時間、地図など便利な情報付き。

知的好奇心を満たす図書館がきっと見つかる一冊！



本書で紹介する専門図書館（一部）

- 東京都江戸東京博物館図書室
- 明治大学米沢嘉博記念図書館
- 広島市まんが図書館●野球殿堂博物館図書室
- ポーラ化粧品文化情報センター
- 味の素食の文化センター食の文化ライブラリー
- 国立女性教育会館女性教育情報センター
- 石川武美記念図書館●トヨタ産業技術記念館図書室
- 鉄道博物館ライブラリー●国際連合大学ライブラリー
- カナダ大使館E・H・ノーマン図書館●国立天文台図書室
- 宇宙航空研究開発機構本社図書室
- 東邦大学医療センター大森病院からだのとしょじつ
- 慶應義塾大学先端生命科学研究科からだ館
- 名古屋都市センターまちづくりライブラリー
- 防災科学技術研究所自然災害情報室

。。。ほか

本書の特色

▼専門図書館を紹介・解説する書籍はこれまでにいくつかあったが、フルカラーで図書館の特徴からレファレンスサービスまでを紹介する「痒い所に手が届く」ガイドブックはこれまでになく、まさしく本邦初の刊行。

▼各館の紹介ページには、最寄り駅や、地図(QRコードを掲載)、開館時間・休館日や、WiFi、OPACなどをまとめた「基本情報」も掲載した充実の内容。

▼巻末に「紹介館リスト」として、座席数や面積、各SNSの利用状況などのデータを一覧にして掲載。

著者紹介

青柳英治(あおやぎ・えいじ)

明治大学文学部教授。明治大学大学院経営学研究科博士前期課程修了、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。博士(図書館情報学)。

主な著書に、『専門図書館の人的資源管理』(勉誠出版、2012年)、『図書館制度・経営論—ライブラリーマネジメントの現在』(共著、ミネルヴァ書房、2013年)、『ささえあう図書館』(編著、勉誠出版、2016年)などがある。

長谷川昭子(はせがわ・あきこ)

日本大学文理学部非常勤講師。早稲田大学第一文学部卒業、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。博士(図書館情報学)。

主な著書に、『専門図書館における現職者教育と個人の能力開発』(風間書房、2013年)、『情報資源組織演習—情報メディアへのアクセスの仕組みをつくる』(共編著、ミネルヴァ書房、2016年)、『情報サービス論』(共著、学文社、2013年)などがある。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 専門図書館探訪 あなたの「知りたい」に応えるガイドブック 青柳英治・長谷川昭子〔共著〕／専門図書館協議会〔監修〕	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

世界の図書館から

アジア研究のための図書館・公文書館ガイド

U-PARL [編]

本体2,400円(+税)

A5判並製カバー装・232頁

2019年4月刊行

ISBN978-4-585-20069-7 C0000

アジアを考えるために

絶え間なく変動するアジア各地の実情や、各国の歴史、出版物を調べるとき、その調査・研究の第一歩となる、現地の図書館・公文書館。

膨大な蔵書や、貴重なコレクションを有する代表的な45館を世界各地から精選・紹介。

蔵書、閲覧手続き、アクセスや周辺の耳寄り情報なども収録！

現地での使用体験に基づいた、待望の活用マニュアル！

目次

はじめに◎U-PARL部門長 菱輪頤量

本書で取り上げた図書館・公文書館

凡例

◎東アジア

◎東南アジア

◎南アジア

◎西アジア

◎欧米諸国

おわりに◎U-PARL副部門長 永井正勝

執筆者一覧

編者紹介

U-PARL

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門
(Uehiro Project for the Asian Research Library / 略称U-PARL)

公益財団法人上廣倫理財団の寄付を得て2014年4月に東京大学附属図書館に設立された研究部門。同大学総合図書館4階に2020年開館予定のアジア研究図書館の構築支援、図書館機能研究、協働型アジア研究、社会還元と人材育成を主な目的としている。

本書で紹介する世界の図書館

◎東アジア

中国国家図書館、上海図書館、南京図書館、蘇州図書館、雲南省図書館、雲南省檔案館、湖北省檔案館、華中師範大学図書館、湖南大学図書館、台湾国家図書館、中央研究院、台湾大学図書館、ソウル大学校中央図書館

◎東南アジア

ベトナム国家図書館、ベトナム国立社会科学図書館、漢喃研究院図書館、ベトナム国立第三公文書館、カンボジア公文書館、王立プノンペン大学附属フン・セン図書館、タイ国立図書館、チュラーロンコーン大学学術資源室、ミャンマー国立公文書局、マレーシア国立図書館、サバ州立図書館・本館、シンガポール国立図書館、シンガポール国立大学中央図書館・華語図書館、インドネシア国立図書館

◎南アジア

インド国立文書館、ネルー記念博物館図書館、マハーラーシュトラ州公文書館ブネー分館、デーシュ・バガト・ヤードガール・ライブラリー

◎西アジア

イラン国立図書館、マレク国立図書館・博物館、イスラーム遺産復興センター、マルアシー図書館、テヘラン大学中央図書館・文書センター、カイロ・アメリカン大学図書館、ボアジチ大学図書館、トブカブ宮殿博物館附属図書館・文書館

◎欧米諸国

ドゥブルグニク国立文書館、サラエボ東洋学研究所、ガーズィ・フスレヴ・ベグ図書館、フランス国立図書館の電子図書館“Gallica(ガリカ)”、ブリティッシュコロンビア大学・アジア図書館、ハーバード燕京図書館の漢籍デジタルコレクション

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 世界の図書館から アジア研究のための図書館・公文書館ガイド U-PARL [編]	本体2,400円(+税) A5判並製カバー装・232頁 2019年4月刊行 ISBN978-4-585-20069-7 C0000
ご送付先ご住所（通信欄）	

ささえあう図書館

「社会装置」としての新たなモデルと役割

青柳英治（明治大学文学部准教授）〔編著〕

岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表）〔監修〕

現代社会をささえる新たな連携モデルは、図書館から始まっている！

これまでの本を貸す「箱」としての図書館ではなく、図書館と利用者が互いに「ささえあう」ことで、双方向的に新しい図書館の在り方を模索・構築している事例が増えつつある。双方からの視点で現状を捉えることで、図書館の新たな社会的役割をあぶり出し、新たな図書館像・モデルを提示。

全国から、先駆的な取り組みを行っている10ヶ所の図書館の事例を集積することで、これまでの公共図書館の枠組みを外して、民間の取り組みや、「いわゆる図書館」に収まらない形態の図書館を紹介する。

【目次】

まえがき 青柳英治

序章 「ささえあう図書館」とは 青柳英治

第Ⅰ部 利用者が図書館をささえる

第一章 市民とともにめざす「読書のまち恵庭」

北海道恵庭市立図書館・内藤和代

第二章 離島の小さな図書館にできること

島根県海士町中央図書館・磯谷奈緒子

第三章 支え合う社会をめざして

エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）・谷合佳代子

第Ⅱ部 図書館が利用者をささえる

第四章 図書館は社会のセーフティネットになっているか？

鳥取県立図書館・小林隆志

第五章 中之島図書館のビジネス支援

大阪府立中之島図書館・藤井兼芳

第六章 会員制ビジネスライブラリー「BIZCOLI」の挑戦

BIZCOLI（福岡県福岡市）・岡本洋幸

第Ⅲ部 図書館を利用者に届ける

第七章 視覚障害者の読書をささえて

日本点字図書館（東京都新宿区）・田中徹二

第八章 「癒しと情報」の館Ⅱ患者図書館

日本病院患者図書館（東京都港区）・菊池 佑

第九章 矯正施設の「読書」をささえる図書館サービス 日置将之

第十章 被災地の人々をささえる移動図書館プロジェクト 鎌倉幸子

終章 「社会装置」としての新たなモデルと役割の可能性 青柳英治

あとがき 岡本 真

執筆者紹介
索引

本体 一、八〇〇円（＋税）

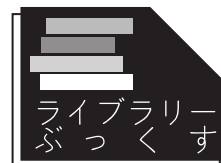
四六判並製カバー装・二七二頁

二〇二一年三月刊行

ISBN978-4-585-90039-9 C0000

書 名	部 数
ささえあう図書館【オンデマンド版】 「社会装置」としての新たなモデルと役割 青柳英治〔編著〕 / 岡本 真〔監修〕	本体1,800円(+税) 四六判並製カバー装・272頁 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-90039-9 C0000
ご送付先ご住所（通信欄）	

変化する社会とともに歩む 学校図書館



野口武悟 [著]

時代ごとに変化する学校図書館。教育と図書館の相関を見る——

「本離れ」が叫ばれる中で、学校図書館は読書、ひいては本の大切さをどのように説いているのであろうか。

また、司書教諭に関する法律改正などに伴って、現場はどう変化しているのだろうか？

歴史的な側面を概括し、制度論も交えながら現在の学校図書館の達成ポイントと課題を論じる。

デジタル環境など新しいトピックや、授業における図書館利用などについても見ていくことで、

「本との出会い」だけにとどまらない図書館の教育的効果を考える。

さらに小学校から高校までの学校図書館を取り巻く環境と、

現在行なっている取組を、代表的な学校の司書によるコラムを交えて紹介し、実際の現場に迫る。

目次

まえがき

序 章：学校図書館の過去と現在

第1章：子どもの「学び」のいまと学校図書館

第2章：子どもの多様な育ちに応える学校図書館

第3章：子どもの多様な発達を支える学校図書館

第4章：社会の情報化と学校図書館

第5章：社会のグローバル化と学校図書館

第6章：進展する公共サービスの市場化と学校図書館

第7章：市民活動社会と学校図書館

第8章：社会の少子・高齢化、過密・過疎化と学校図書館

終 章：変化・成長する有機体としての学校図書館

補 章：新型コロナウイルスの感染拡大と学校図書館

あとがき

コラム

①学校図書館に、カフェあります——田奈高校「ぴっかりカフェ」のこれまでと、「校内居場所カフェ」のこれから●松田ユリ子(神奈川県立新羽高等学校 学校司書)

②東京都立墨東特別支援学校の取組と、今後の課題●生井恭子(東京都立墨東特別支援学校 司書教諭)

③中央大学附属中学校・高等学校の図書館におけるICT活用の現状について●平野 誠(中央大学附属高等学校・中学校 司書教諭)

④海士町・島まるごと図書館構想の歩み●磯谷奈緒子(島根県海士町中央図書館 司書)

本書の特色

●公共図書館や大学図書館に比べて、ともすれば見落とされがちな小学校から高校までの学校図書館について、社会情勢も踏まえてまとめて論じている。

●2020年の新型コロナウイルス禍における学校図書館の取組みも掲載。

●実際に学校図書館の現場に従事している司書によるコラムでは、実践的な例を紹介。

著者プロフィール

野口武悟 (のぐち・たけのり)

専修大学文学部ジャーナリズム学科教授・学科長、放送大学教養学部客員教授。専門は図書館情報学、学校教育学、社会福祉学。主な著書に、『多様性と出会う学校図書館——一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ』(共編著、読書工房、2015年)、『図書館のアクセシビリティ——「合理的配慮」の提供へ向けて』(共編著、樹村房、2016年)、『改訂新版 学校経営と学校図書館』(共編著、放送大学教育振興会、2017年)、『学校司書のための学校教育概論』(共編著、樹村房、2019年)、『多様なニーズによりそう学校図書館——特別支援学校の合理的配慮を例に』(共著、少年写真新聞社、2019年)などがある。

定価2,420円(税込)・本体2,200円

四六判並製カバー装・288頁
ISBN 978-4-585-20081-9・C0000
2021年4月刊行

書 名	部 数
変化する社会とともに歩む 学校図書館 野口武悟 [著]	定価2,420円(税込)・本体2,200円 四六判並製カバー装・288頁 ISBN 978-4-585-20081-9・C0000 2021年4月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

わかる！図書館情報学シリーズ 全5巻

日本図書館情報学会研究委員会【編】

本体各1,800円(+税)・各巻四六判並製カバ―装・176頁

図書館職員・学生・
研究者、必携！

図書館情報学の
最先端を、
わかりやすく
基礎から学ぶ

第1巻 電子書籍と電子ジャーナル

2014年11月刊行・ISBN978-4-585-20501-2 C1300

新メディアをどう活用するか

読書の新たな可能性を切り拓く「電子書籍」、いまや研究者の必需品となった「電子ジャーナル」。

図書館の枠組みに大きく影響を与える新メディア、その基礎的な技術からメリット・デメリット、図書館における利活用のあり方まで丁寧に解説する。

第2巻 情報の評価とコレクション形成

2015年10月刊行・ISBN978-4-585-20502-9 C1300

正しい情報を得るための羅針盤は？

氾濫するデータの海を泳ぐために、図書館情報学が導き出す理論。情報化社会を生きる現代人に必須の「評価基準」とは何か。人々や図書館は、情報をどのように選択し、「コレクション」をどのように構築しているのか……。理論から実践・事例までを備えた、基礎的テキストの決定版。

第3巻 メタデータとウェブサービス

2016年11月刊行・ISBN978-4-585-20503-6 C1300

データを管理・展開するためには、この最先端の知識が必要である

メタデータによる書誌的記録管理や国際規格の現在を探り、検索エンジンやクラウド・コンピューティングの可能性を知る。Europeana、CiNii、Google、Amazon…その基盤と展開。

第4巻 学校図書館への研究アプローチ

2017年11月刊行・ISBN978-4-585-20504-3 C1300

より能動的な学校図書館へ――

学習情報センター化・読書センター化へ向けて激動する学校図書館の現状。

近年の動きとともに多様化する学校図書館のありかた。司書教諭や学校司書など実務者まで含めた執筆陣が、個別具体的な研究の最前線を紹介する。

第5巻 公共図書館運営の新たな動向

2018年9月刊行・ISBN978-4-585-20505-0 C1300

公共図書館の転換点

これから公共図書館が大きな転換点を迎えるにあたって、広く議論されるべき課題を提示。

現場の図書館員や図書館情報学の学習者に向けて概論的に紹介する。

書名	部数
わかる！図書館情報学シリーズ1 電子書籍と電子ジャーナル	部
わかる！図書館情報学シリーズ2 情報の評価とコレクション形成	部
わかる！図書館情報学シリーズ3 メタデータとウェブサービス	部
わかる！図書館情報学シリーズ4 学校図書館への研究アプローチ	部
わかる！図書館情報学シリーズ5 公共図書館運営の新たな動向	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

図説

よりすぐり国立国会図書館

—— 竹取物語から坂本龍馬直筆まで ——

THE BEST OF NATIONAL DIET LIBRARY'S
DIGITAL LIBRARY COLLECTIONS

国立国会図書館 [編]

本体2,800円(+税)
B5判並製カバー装・フルカラー・144頁・2014年10月刊行
ISBN978-4-585-20029-1 C1000

日本最大の図書館が所蔵する約4000万点の蔵書から、115の名品を精選。
仏教典籍、古写本、絵巻、絵本、古活字版から、幕末維新期の写真、書簡、憲法草案まで。
名品の数々を味わい、日本文化の歴史を辿る。「大小暦」「江戸の博物誌」「ちりめん本」などコラムも充実。

国立国会図書館では、収集・保存したデジタル資料を検索・閲覧できる「国立国会図書館デジタルコレクション」を公開している。ここでは、古典籍資料(貴重書等)、図書、雑誌のほかにも、官報、博士論文、憲政資料、日本占領関係資料、インターネット上の刊行物なども収録されている。

本書は、古今東西の膨大な資料の中から、いくつかのテーマに沿って代表的な名品・歴史的に貴重な資料115点をフルカラーで紹介するものである。

もくじ

第1部 貴重書と古典籍

書物の華～絵本・絵巻・錦絵など
書物の歴史～奈良時代から江戸時代まで
さまざまな資料～絵図、記録、名家の筆跡
外国の書物～中国・朝鮮、西洋

第2部 憲政資料

幕末洋学
維新明治期

解説 国立国会図書館の概要とデジタル化事業

内容見本



書名	部数
図説 よりすぐり国立国会図書館 竹取物語から坂本龍馬直筆まで 国立国会図書館 [編]	本体2,800円(+税) B5判並製カバー装・144頁(フルカラー) 2014年10月刊行 ISBN978-4-585-20029-1 C1000
ご送付先ご住所(通信欄)	部

戦争と図書館

英国近代日本語コレクションの歴史

小山騰 [著]

英国の近代日本語コレクションに残る戦争の影

第二次世界大戦で戦火を交えた英国と日本。
その不幸な出来事の結果として英国の近代日本語コレクションは
戦後急速に成長し、英国図書館、ロンドン大学東洋アフリカ学院図書館、
ケンブリッジ大学図書館そしてオックスフォード大学
ボードリアン日本研究図書館が所蔵する
四大日本語コレクションが築かれることとなる。
敵国語としての日本語教育や敵国財産として接收された
日本語書籍などの遺産によって支えられたその発展を、
戦争とのかかわりから読み解く。

目次

- 序章 英国の日本語コレクション
- 第一章 『日英必戦論』とその英訳本
『Japan Must Fight Britain』
- 第二章 ベッドフォード日本語学校と
東洋アフリカ学院
- 第三章 ベルリン日本大使館の図書館資料を追跡する
- 第四章 接收された日本語書籍の行方と
東洋アフリカ学院
- 第五章 接收資料——ケンブリッジ大学とダラム大学の場合
- 終章 スカーブラ交付金による大発展

あとがき／参考文献／索引

執筆者紹介

小山騰(こやま・のぼる)

1948年愛知県生まれ。成城大学文芸学部卒業。慶応大学大学院修士課程(日本史)修了。
国会図書館勤務などを経て、1985年から2015年までケンブリッジ大学図書館日本部長。
主な編著書に『国際結婚第一号—明治人たちの雑婚事始』(講談社、1995年)、『破天荒明治留学生列伝—大英帝国に学んだ人々』(講談社、1999年)、『ケンブリッジ大学秘蔵明治古写真—マーカーザ号の日本旅行』(平凡社、2005年)、『日本の刺青と英国王室—明治期から第一次世界大戦まで』(藤原書店、2010年)、『ロンドン日本人村を作った男—謎の興行師タナカー・ブヒクロサン 1839-94』(藤原書店、2015年)、『ケンブリッジ大学図書館所蔵アーネスト・サトウ関連蔵書目録』(ゆまに書房、2016年)、『ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み』(勉誠出版、2017年、第20回図書館サポートフォーラム賞)などがある。



本体 3,800円(+税)

四六判・上製・カバー装・304頁

2018年11月刊行

ISBN978-4-585-20066-6 C1000

書名	部数
戦争と図書館 英国近代日本語コレクションの歴史 小山騰 [著]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

ケンブリッジ大学図書館と 近代日本研究の歩み 国学から日本学へ

小山 騰（元ケンブリッジ大学図書館日本学担当司書）〔著〕

ケンブリッジ大学図書館が所蔵する
膨大な日本語コレクション。

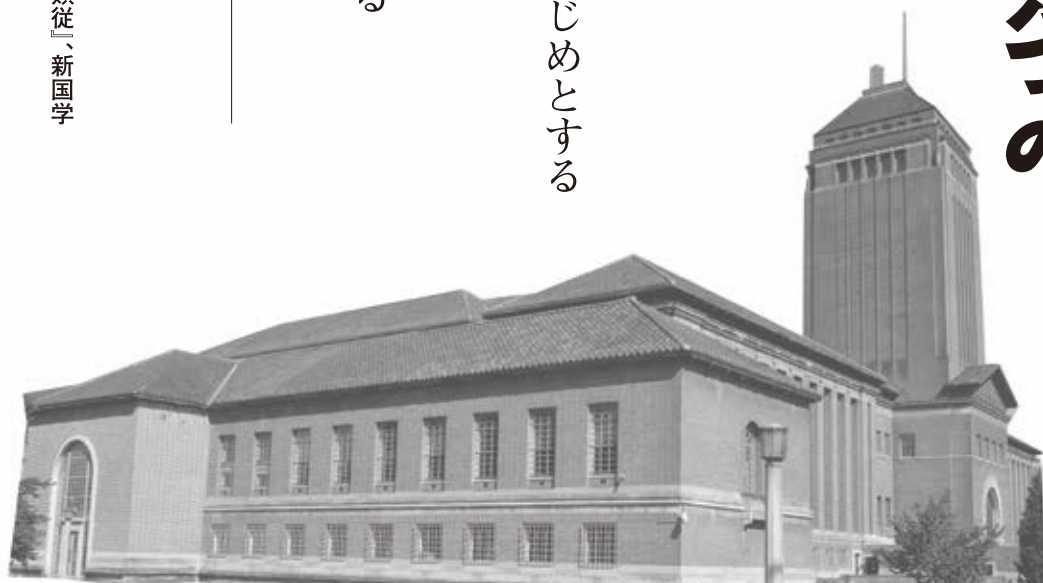
英国三大日本学者・サトウ、アストン、チェンバレンをはじめとする
明治時代の外国人たちが持ち帰った数々の貴重書には、
平田篤胤や本居宣長らの国学から始まる
日本研究の歩みが残されている。
柳田国男も無視できなかった同時代の西洋人たちによる
学問発展の過程を辿る。

【目次】

- | | | | |
|-----|---------------------|-----|----------------------|
| 序 章 | 柳田国男と海外の日本語コレクション | 第六章 | サトウの『日本文学史』 |
| 第一章 | 日本研究の歴史 | 第七章 | アストンの『日本研究』 |
| 第二章 | ハインリッヒ・シーボルト・コレクション | 第八章 | アストンの『日本文学史』 |
| 第三章 | なぜ複本が多いのか | 第九章 | アストンの『神道』 |
| 第四章 | サトウの神道・国学研究 | 終 章 | チェンバレン、琉球、『群書類従』、新国学 |
| 第五章 | サトウの方法 | | |

【著者プロフィール】

小山 騰（こやま・のぼる）
一九四八年愛知県生まれ。成城大学卒業。慶応義塾大学大学院修士課程（日本史）修了。国会
図書館勤務などを経て、一九八五年から二〇一五年までケンブリッジ大学図書館日本部長。



本体二二〇〇円（＋税）

四六判上製カバー装・三三六頁
二〇一七年八月刊行
ISBN978-4-585-20058-1 C1000

書 名		部 数
ケンブリッジ大学図書館と 近代日本研究の歩み——国学から日本学へ 小山 騰 [著]		本体3,200円(+税) 四六判上製カバー装・336頁 2017年8月刊行 ISBN978-4-585-20058-1 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）		

本体3,200円（＋税）
四六判上製カバー装・336頁
2017年8月刊行
ISBN978-4-585-20058-1 C1000

日本占領期の 学校図書館

本体5,000円(+税)
A5判上製カバー装・336頁
2016年5月刊行
ISBN978-4-585-20046-8 C1000

アメリカ学校図書館導入の歴史

終戦以後、連合国の占領下に置かれた日本で行われた教育改革。
その中で変革を迫られた学校図書館は、アメリカをモデルに生まれ変わっていく――。
今につながる学校図書館の歴史を見通しながら、
学校教育と図書館がどう連携できるのか、その課題と未来像を問う。
2014年の学校図書館法改正を始めとして、大きく変動する現場に対し、
未だ積み重ねが乏しい研究状況に、本書は一石を投じる。

…本書の特徴…

- ◎実践の歴史も短い学校図書館に関する知見は、日本においてはまだ乏しく、まとまった研究書は数冊ほどしかない。本書は、導入期の日本占領期からの歴史を総括しつつ、日本の教育における学校図書館の位置づけを論じたものとして、貴重な書籍である。
- ◎アメリカでの学校図書館制度成立の過程を概括、日本への導入後にその制度がどのように変質していったのか、日米両面からの歴史的視野から描く。
- ◎学校図書館法改正を受け、教育における学校図書館利用が課題となる今、本書ではこれまでの歴史から学校教育における代表的な利用例を紹介。今後の教育課題の視座を与える。

目次	序…根本彰
	第1章…本書の目的、対象ならびに意義
	第2章…アメリカにおける20世紀前半までの学校図書館制度および理論
	第3章…アメリカにおける20世紀前半の学校カリキュラム改革
	第4章…占領下教育改革とアメリカの影響
	第5章…戦後新教育実践における学校図書館
	第6章…日米の学校教育実践における学校図書館の位置づけ

今井福司 [著]

(いまい・ふくじ) 白百合女子大学基礎教育センター准教授。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)(東京大学)。専門は図書館情報学(学校図書館、図書館史)。主な著書に『学校図書館メディアの構成』(共著、樹村房、2016年)などがある。

書名	部数
日本占領期の学校図書館 アメリカ学校図書館導入の歴史 …………… 今井福司[著]	本体5,000円(+税) A5判上製カバー装・336頁 2016年5月刊行 ISBN978-4-585-20046-8 C1000 部
ご送付先ご住所(通信欄)	

未来を創る変革力・想像力

学びと育ちを支える 学校図書館

渡邊重夫 [著]

本体 2,400 円 (+税)

四六判上製カバー装・264 頁
ISBN 978-4-585-20053-6 C1000
2016 年 8 月刊行

人類が生み出した「知」の遺産としての学校図書館が、
どのように成立し、そして現在の状況がどうなっているの
かを考察することで、その在り方・未来像を提唱する。
人権をベースに子どもの「学び」と「育ち」を考える。

【目次】

はじめに

第一章 人類の記憶を還元する図書館

——図書館規制、そして情報統制の歴史に学びつつ——

第二章 すべての子どもに学校図書館を

——「図書館学の五法則」に学ぶ——

第三章 資料を軸に学校図書館の「満足度」を考える

——変えることは、変わること——

第四章 「学校図書館の自由」

——学習権概念を媒介に——

【本書の特色】

- 司書教諭や学校司書をはじめ、関心のある多くの人に学校図書館のあり様を新たな視点から解説。
- 戦前の情報統制と図書館の歴史をひもとき、現代社会への警鐘を鳴らす。
- 『図書館学の五法則』（ランガナタン）をもとに、学校図書館のあるべき姿を探る。
- 「変えることは、変わること」、学校図書館を変革する基本的な視座を提示。
- 資料の収集や提供を軸に、学校図書館には自主性・自立性が重要であることを指摘。

【著者紹介】

渡邊重夫（わたなべ・しげお）

北海道学芸大学（現北海道教育大学）札幌校卒業。

藤女子大学教授を経て、現在は北海道教育大学学校・地域教育研究センター共同研究員、北海学園大学などで非常勤講師。日本図書館情報学会会員、日本図書館研究会会員。

著書に『図書館の自由と知る権利』（青弓社、1989 年）、『子どもの権利と学校図書館』（青弓社、1993 年）、『図書館の自由を考える』（青弓社、1996 年）、『司書教諭という仕事』（青弓社、1999 年）、『学校図書館概論』（図書館情報学の基礎 14）（勉誠出版、2002 年）、『司書教諭のための学校経営と学校図書館』（学文社、2003 年）、『学習指導と学校図書館』第 3 版（メディア専門職養成シリーズ 3）（学文社、2013 年）、『学校図書館の力—司書教諭のための 11 章—』（勉誠出版、2013 年）、『学校図書館の対話力—子ども・本・自由—』（青弓社、2014 年）、『学校経営と学校図書館』（青弓社、2015 年）（いずれも単著）がある。

書 名	部 数
学びと育ちを支える学校図書館 渡邊重夫 [著]	本体 2,400 円 (+税) 四六判上製カバー装・264 頁 2016 年 8 月刊行 ISBN 978-4-585-20053-6 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）	

G・E・モリソンと近代東アジア

本体二、八〇〇円(+税)
四六判上製カバー装
口絵八頁+三〇四頁
二〇一七年九月刊行
ISBN978-4-585-22189-0 C1020

東洋学の形成と東洋文庫の蔵書

コレクション

公益財団法人 東洋文庫〔監修〕 岡本隆司〔編者〕

激動の時代に彼は何を残し、伝えようとしたのか

アジア地域の歴史文献95万冊を有する
世界に誇る東洋学の拠点、東洋文庫。

その蔵書形成の基盤には、

ひとりのジャーナリストの存在があった――

清末民国初という激動の時代を中国で過ごし、
東アジアと世界をつないだG・E・モリソン。

各地に残された資料、書籍を中心とした

比類なきコレクション、

そして近年研究の進展を見せる

貴重なパンフレット(小冊子)類を紐解くことにより、
時代と共にあった彼の行動と思考を明らかにし、
東洋文庫の基底に流れる思想を照射する。

モリソン文庫渡来一〇〇年!!

G・E・モリソン

一八六二年生まれ。イギリスのジャーナリスト。一八八〇年代
に世界各地を旅行する。一八九五年にロンドン・タイムズ入社、
一八九七年より北京特派員。一九一一年中華民国総統府顧問。
在任中蒐集したモリソン文庫と称される極東関係文献二四、〇
〇〇冊は一九一七年、岩崎久彌に譲渡。

【目次】

まえがき◎斯波義信

座談会

モリソン文庫の来歴と魅力◎斯波義信・濱下武志・平野健一郎・中見
立夫・岡本隆司

第一部 東アジアのなかのモリソン

モリソンとその時代◎岡本隆司
朝河貫一とモリソン◎矢吹 晋
二十一カ条要求とモリソン◎奈良岡聰智

第二部 モリソンパンフレットの世界

モリソンとパンフレット・コレクション◎岡本隆司
上海、黄浦江を渡る(一九〇七―一九一〇)
――モリソンパンフレット内資料の位置づけ◎城山智子
アヘン問題とモリソン◎村上 衛

座談会二

モリソンパンフレットの世界◎岡本隆司・松重充浩・城山智子・吉澤
誠一郎・斯波義信

あとがき◎岡本隆司

執筆者一覧

人名索引

【編者プロフィール】

岡本隆司(おかもと・たかし)
一九六五年生まれ。京都府立大学教授。専門は中国近代史、東アジア国
際関係史。

書 名	部 数
G・E・モリソンと近代東アジア ――東洋学の形成と東洋文庫の蔵書 公益財団法人 東洋文庫〔監修〕 岡本隆司〔編者〕	本体2,800円(+税) 四六判上製カバー装・口絵8頁+304頁 2017年9月刊行 ISBN978-4-585-22189-0 C1020
ご送付先ご住所(通信欄)	

アーネスト・サトウと蔵書の行方

『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって

プロヴィナンス

小山騰 [著]

その「本」はどこから来て、どこへ行ったのか――

幕末・明治期、英国の外交官・日本研究者として活躍し、日本の古書収集家として傑出した人物であったアーネスト・サトウ。

そのサトウのコレクションの中に浮世絵の研究、特に謎の浮世絵師「写楽」の考証にとっての重要な資料である『増補浮世絵類考』が含まれていた。

作者の斎藤月岑の死後、サトウの所蔵をへて、ケンブリッジ大学図書館にたどり着くまでの期間、この本はどのような変遷をたどったのか。

写本として受け継がれた『浮世絵類考』の全般にかかわる問題にも言及しつつ、その謎を追う。

【著者プロフィール】

小山騰 (こやま・のぼる)

一九四八年愛知県生まれ。成城大学文芸学部卒業。慶應大学大学院修士課程(日本史)修了。ロンドン大学UCLでPG Dip(図書館・情報学)を取得。国会図書館勤務などを経て、一九八五年から二〇一五年までケンブリッジ大学図書館日本部長。

主な編著書に、『日本の刺青と英国王室――明治期から第二次世界大戦まで』(藤原書店、二〇一〇年)、『ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み』(勉誠出版、二〇一七年、第二十回図書館サポーターフォーラム受賞)、『戦争と図書館――英国近代日本語コレクションの歴史』(勉誠出版、二〇一八年)などがある。

【目次】

はしがき――本題の「まくら」として、まず剣客と写本の話

序章

第一章 『浮世絵類考』

第二章 『増補浮世絵類考』を入手した事情をさぐる

第三章 アーネスト・サトウの蔵書収集

第四章 サトウの蔵書の行方と蔵書目録

第五章 アンダーソンとサトウ

終章

あとがき／参考文献一覧／人名索引



本体 四、二〇〇円(+税)

四六判上製カバー装・四六四頁

二〇二〇年十一月刊行

ISBN978-4-585-20078-9・C1000

書名	部数
アーネスト・サトウと蔵書の行方 『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって 小山騰 [著]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

本体4,200円(+税)
四六判上製カバー装・464頁
ISBN 978-4-585-20078-9・C1000
2020年11月刊行

英国の出版文化史

書物の庇護者たち

清水一嘉〔著〕

パトロンが書籍の運命を左右した時代

出版社が本を作り、書店に並んだ本を読者が購入する。そんな現在の出版流通が成立する以前の書物をささえていたのはパトロンの存在だった。

西洋における中世以降の書物の成り立ちを辿りながら、18世紀イギリスの出版文化における作家、パトロン、書籍から新聞、広告といった全貌に迫る快著。

【目次】

序	第二章 ある地方都市の新聞
第一部 パトロンの時代	第三章 地方における印刷業
第一章 写本時代の本の出版	第四章 検閲法と出版
第二章 パトロンの系譜	第五章 書籍産業の発展
第三章 偉大なるパトロンたち	第六章 地方の書籍市場
第四章 パトロンの変化	第七章 流通システム
第五章 パトロンから読者の時代へ	第八章 市場の拡大
第二部 一八世紀の出版流通	第九章 書籍業の仕事（その二）
第一章 一八世紀の出版と法律	第十章 書籍業の仕事（その二）
	あとがき／参考文献

【本書の特色】

- ① 書物の出版を支援していた「パトロン」の存在に着目。読者と出版社の関係とは異なった、出版文化の一側面に焦点を当てる。
- ② 多数の文献を参照し、18世紀イギリスにおける出版流通の状況を詳細に解説。
- ③ 書籍のみならず、新聞・印刷など、いわゆる出版文化の全てをカバー。西洋の出版史を考察する上でマストな一冊。

【著者プロフィール】

清水一嘉（しみず・かずよし）
愛知大学名誉教授。専攻は英文学、英国文化史。主な著書に『イギリス近代出版の諸相——コービー・ハウスから書評まで』（世界思想社、一九九九年）、『自転車に乗る漱石——百年前のロンドン』（朝日選書二〇〇一年）などがある。

本体二、八〇〇円（＋税）

四六判上製カバー装・三六八頁
二〇一九年九月刊行
ISBN978-4-585-22251-4 C1022

書名	部数
英国の出版文化史——書物の庇護者たち 清水一嘉〔著〕	部
本体3,800円（＋税） 四六判上製カバー装・368頁 2019年9月刊行 ISBN978-4-585-22251-4 C1022	
ご送付先ご住所（通信欄）	

アーカイブズと 文書管理

坂口貴弘 [著]

米国型記録管理システムの形成と日本

膨大な記録情報を管理するために展開された、米国、そして日本での苦闘——
危機の時代を迎える今、最も注目される「アーカイブズ」の成立史

1934年に設立された世界最大級のアーカイブズ施設「米国国立公文書館」。
その大規模システム開発の歴史を辿り、
米国型の記録管理システムの形成過程を分析。
また日本が米国型を導入しつつも、
どのように独自のシステムをつくりあげてきたのか、
戦後のGHQによるシステム導入から現在までの、
民・官・学の取り組みを追った。

[目次]

はしがき

序章 本書の課題

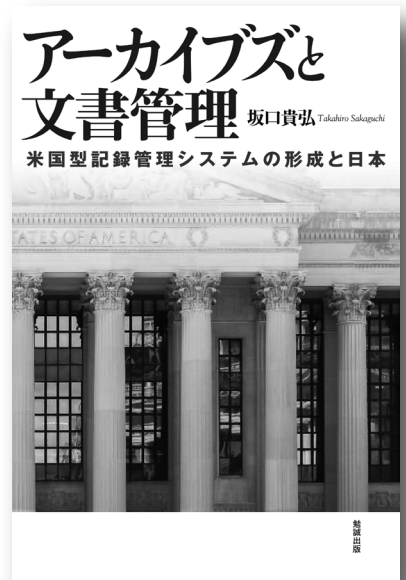
第1部 米国型文書検索システムの形成：シカゴ万博から第二次世界大戦後まで
検索手段としての文書整理法とその改革／米国型文書整理法の普及と教育／米国国立公文書館における検索手段の誕生：文書整理法との関係を中心に

第2部 第二次世界大戦前後の米国における文書選別処分・配置システム
米国連邦政府における文書選別処分システムの確立／レコード・マネジメントの成立と文書配置システム

第3部 近現代日本における米国型記録管理システムの導入
米国型文書検索・配置システムの受容と変容：集中から分散へ／日本占領と米国型記録管理システム：GHQ/SCAPによるアーカイブズ調査／戦後の文書管理改善運動における保存と廃棄：選別処分システムの視点から

終章 文書管理とアーカイブズの連携に向けて

あとがき



本体 6,000 円 (+税)

A5 判上製カバー装・400 頁
ISBN 978-4-585-20047-5 C1000
2016 年 5 月刊行

〔著者紹介〕 坂口貴弘（さかぐち・たかひろ）
創価大学創価教育研究所講師。学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻博士後期課程修了。博士（アーカイブズ学）。
主な著書に、知的資源イニシアティブ編『これからのアーキビスト—デジタル時代の人材育成入門』（共著、勉誠出版、2014 年）などがある。

書 名	部 数
アーカイブズと文書管理 米国型記録管理システムの形成と日本 坂口貴弘 [著]	本体6,000円(+税) A5判上製カバー装・400頁 2016年4月刊行 ISBN978-4-585-20047-5 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）	

近世・文書の保存・管理の歴史

佐藤孝之
三村昌司 [編]

歴史資料の継承のために――

それまでの時代に比べて内容的に多様に、量的に膨大に作成されるようになった

近世・近現代の文書・歴史資料は、

どのようにして保存され、管理されてきたのか。

現在はどうのように利用・活用されているのか。

近世は幕府や藩、村方、商家等を対象に、

明治以降の近現代は公文書、自治体史料などの歴史資料、

そして、修復やデジタルアーカイブなどの

現代的課題に焦点を当てて、

文書の保存・管理システムの実態と特質を明らかにする。

歴史研究者、アーキビスト、行政担当者など、

文書を扱うすべての人、必読の一冊。

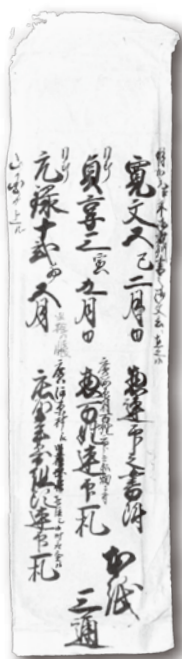
【編者プロフィール】

佐藤孝之（さとう たかゆき）

東京大学名誉教授。専門は近世の幕領支配および村落の研究、近世史料論。主な著書に『近世駆込寺と紛争解決』（吉川弘文館、二〇一九年）など。

三村昌司（みむら しょうじ）

防衛大学校准教授。専門は日本近代史、地域歴史資料学。主な論文に、「とらえなおされる地域歴史資料——歴史資料保全活動と地域に残された歴史資料」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る——地域歴史資料学の構築』東京大学出版会、二〇一四年一月）など。



【目次】

序言……佐藤孝之・三村昌司

近世編

●総論 近世文書の保存・管理史研究と近世編の概要……佐藤孝之
江戸幕府右筆所日記について……小宮木代良

秋田藩の藩庁伝来文書と文書管理制度の展開……鈴木 満

大名家文書の構造と伝来過程

——高松松平家文書を中心として……胡 光

近世村方文書の保存と管理……西村慎太郎

丹波国山国郷における文書保存・管理・利用……柳澤 誠

近世住家文書の伝来と保存・管理……末岡照啓

近現代編

●総論 近現代文書の保存・管理の歴史に関する研究と
近現代編の概要……三村昌司

公文書の保存・管理の歴史……松岡資明

明治政府の正史編纂と史料収集……松沢裕作

地域に残された歴史資料はなぜ大切か……三村昌司

地域のなかの文書館——兵庫県尼崎市の場合……松岡弘之

「ラム」公害に関するアーカイブズとその活用……林 美帆

自治体史の場合——小平市史の経験を中心にして……大門正克

大規模自然災害と資料保存

——「資料ネット」活動を中心に……川内淳史

「多仁式すきはめ」について……多仁照廣

デジタルアーカイブから見る文書……後藤 真

「インタビュー」本の価値を見いだす古書店……酒井健彦

あとがき……三村昌司

本体 四、五〇〇円（＋税）
A5判並製カバー装・三五三頁
二〇一九年十月刊行
ISBN978-4-585-22253-8 C1021

書 名	部 数
近世・近現代文書の保存・管理の歴史 佐藤孝之・三村昌司 [編]	部
本体 4,500 円（＋税） A5判並製カバー装・352頁 2019年10月刊行 ISBN978-4-585-22253-8 C1021	
ご送付先ご住所（通信欄）	

【オンデマンド】
新 版

菅 豊・北條勝貴〔編〕

パブリック・ヒストリー入門

開かれた歴史学への挑戦

「歴史」は、誰のものか――

人びとが語り、紡いできた歴史、そして、人びとが歴史とともに、歴史を糧に生きていくという行為に目を向け、学問と社会の対話を目指す「パブリック・ヒストリー」は、いま世界的な広がりを見せている学問分野である。歴史学や社会学、文化人類学のみならず、文化財レスキューや映画製作等、さまざまな歴史実践の現場より、歴史を考え、歴史を生きる営みを紹介。人間と歴史との関わりを考え、日常に活かしていくための知識と方法を伝える貴重な一冊。パブリックヒストリーを考えるための日本初の概説書！

〔編者紹介〕

菅 豊（すが ゆたか） 一九六三年生まれ。東京大学大学院情報学環・学際情報学府、東洋文化研究所教授。専門は民俗学。著書に『川は誰のものか――人と環境の民俗学』（吉川弘文館、二〇〇六年）、「人と動物の日本史3――動物と現代社会」（編著、吉川弘文館、二〇〇九年）、「新しい野の学問」の時代へ――知識生産と社会実践をつなぐために（岩波書店、二〇一三年）などがある。

北條勝貴（ほっしょう かつたか） 一九七〇年生まれ。上智大学文学部教授。専門は東アジア環境文化史。著書に『環境と心性の文化史』上・下（共編著、勉誠出版、二〇〇三年）、『寺院縁起の古層――注釈と研究』（共編著、法蔵館、二〇一五年）、「歴史を学ぶ人々のために――現在をどう生きるか」（共著、岩波書店、二〇一七年）などがある。

〔目次〕

I 理論 Theories
II 実践 Practices

歴史家とは誰か？
Who is the Historian?

協働
Collaboration

オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー
Oral History and Writing History

ミュージアムとアーカイブズ
Museums and Archives

デジタル・パブリック・ヒストリー
Digital Public History

アートと歴史映写
Art and Historiophoty

〔執筆者一覧〕

菅豊●北條勝貴●中澤克昭●俵木悟
●西村明●市川秀之●及川祥平
●宮内泰介●加藤幸治●加藤圭木
●金子祥之●石井弓●金菱清●川田牧人
●西村慎太郎●小山亮●村上忠喜
●後藤真●渡邊英徳●塚原伸治
●飯田高誉●青原さとし●今井友樹

本体四、八〇〇円（＋税）

A5判並製
カラー八頁＋本文五〇四頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-82254-7 C1021

書 名	部 数
パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦 菅豊・北條勝貴〔編〕	本体4,800円（＋税） A5判並製・カラー8頁＋本文504頁 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-82254-7 C1021
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

パブリック・ヒストリー入門

開かれた歴史学への挑戦

◆もくじ

口 絵

菅 豊 ●序文 パブリック・ヒストリー——現代社会において歴史学が向かうひとつの方向性

I 理論 Theories

菅 豊 ●パブリック・ヒストリーとはなにか？

北條勝貴 ●〈ありのままの事実〉を支えるもの——近代日本における歴史実践の多様性
中澤克昭 ●プラクティカル・パストと日本史——中世歴史実践史ノート

II 実践 Practices

《歴史家とは誰か？ Who is the Historian?》

俵木 悟 ●歴史と芸——神楽の過去を発掘する／演じるという歴史実践

西村 明 ●いまに生きる、いまに生かす歴史的空間における歴史実践

——「Oターン郷土誌家」を目指して

市川秀之 ●滋賀県下の字誌にみる歴史実践

及川祥平 ●〈コラム〉「武田家属将美名録」はなぜ配られたのか——ある末裔の歴史実践

《協働 Collaboration》

宮内泰介 ●「八重子の日記」をめぐる歴史実践

加藤幸治 ●更地と工事現場からの文化創造と歴史実践

——津波被災地における復興キュレーション

加藤圭木 ●朝鮮・日本の歴史認識と市民的協働

——「韓国併合」一〇〇年をめぐる日韓の運動から

金子祥之 ●〈コラム〉「歴史」を回す——オビシャ行事とオニッキをめぐる歴史実践

《オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー Oral History and Writing History》

石井 弓 ●戦争記憶をめぐる再帰的な歴史実践

——オーラル・ヒストリーによる他者理解と自己理解

金菱 清 ●オーラル・ヒストリーの敗北宣言——想像の死者へ向けた手紙

川田牧人 ●〈コラム〉「歴史」する聖地創出

《ミュージアムとアーカイブズ Museums and Archives》

西村慎太郎 ●歴史資料の保全と地域貢献

小山 亮 ●東京大空襲・戦災資料センターを拠点とした

「東方社コレクション」をめぐる活動——共同研究の進展と成果の公開

村上忠喜 ●〈コラム〉民俗文化財に対する内部者の目線と外部者の目線

《デジタル・パブリック・ヒストリー Digital Public History》

後藤 真 ●歴史のデータは誰のものか——Digital Historyがもたらす未来とは

渡邊英徳 ●「記憶の解凍」

——資料の「フロー」化とコミュニケーションの創発による記憶の継承

塚原伸治 ●〈コラム〉歴史を刻む音楽——ある祭り囃子の「成長」

《アートと歴史映画 Art and Historiophoty》

飯田高誉 ●歴史・アーカイヴズ・アートの連環

——青森EARTH(2012 超群島)／

〈2013 すばらしい新世界——再魔術化するユートピア〉

青原さとし ●映像という歴史叙述

今井友樹 ●〈コラム〉映像で文化を切り取る歴史実践の可能性と課題

——姫田忠義の映像製作

北條勝貴 ●パブリック・ヒストリアンへの道程——あとがきにかえて

入門 デジタルアーカイブ

まなぶ・つくる・つかう

柳与志夫【責任編集】

(東京大学特任教授、東京文化資源会議事務局長)

これを読めば誰でもデジタルアーカイブを造れる！

本体 2,500 円 (+税)

具体的な作業手順がわからない、手引き書の用語がわからない、コストがいくらかかるのかわからない……などなど、実際のデジタルアーカイブ構築に携わる現場の人々が困惑する問題を徹底解説。デジタルアーカイブの設計から構築、公開・運用までの全工程・過程を網羅的に説明する、これまでにない実践的テキスト。

A5 判並製カバー装・200 頁
ISBN 978-4-585-20060-4 C1000
2017 年 12 月刊行

[本書の特色]

- ◎「まなぶ・つくる・つかう」の三部構成。
デジタルアーカイブの設計から構築、公開・運用までの全工程・過程を網羅的に説明する、これまでにない実践的テキスト。これを読めば誰でもデジタルアーカイブを造れる！
- ◎細かい項目に分かれ、目次から必要な情報にすぐにたどり着くことができる。
デジタルアーカイブ構築のマニュアルとして、現場の人々に必携の一冊。
- ◎著作権などの法律問題も網羅。
公開の可否の線引きが難しい権利問題について、弁護士インタビューも交えて解説する。

[目次]

序論

I 部 DAをまなぶ

I-1 DAの種類

デジタルアーカイブの分け方／規模と運営主体による違い
／《コラム》Open DataとLinked Open Data

I-2 DAの工程資料の所蔵とデジタル化

デジタル化／目録の作成とメタデータ／DAの保存

I-3 新しい分野のDA

ウェブアーカイブ／データアーカイブ

II 部 DAをつくる

II-1 運営管理

デジタル化に係る経費／経費：参考事例／《コラム》国際的な画像の相互運用規格IIIF／システム構築及びメンテナンスにかかる経費／仕様書の書き方／仕様書の具体例及びガイドライン／《コラム》クラウドファンディングを用いた資金調達について／DAの運用管理

II-2 技術

平面資料／音声／映像／立体物／インターネットサービスを利用して展開するための技術／サーバ・ストレージシステム／デジタルアーカイブ活用の技術—美術館・博物館の例

II-3 法律

DAと著作権の制限／孤児作品／各国の孤児作品対策／権利処理／CCとDA／TPPとDA／《コラム》「壁」に立ち向かうデジタルアーカイブ：福井健策インタビュー

III 部 DAをつかう

III-1 未来を築くためのアーカイブインタビュー

III-2 DAの活用・展開

DAをつかう意義—地域資源の活用を事例に／「デジタルアーカイブ」とコレクションの活用／デジタルアーカイブの地域における活用／芸術文化のデジタルアーカイブによる活用／組織の記録と広報／災害デジタルアーカイブ／デジタルアーカイブの学術・教育での活用
あとがき

書 名	部 数
入門 デジタルアーカイブ まなぶ・つくる・つかう 柳与志夫【責任編集】	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

文化情報学事典

2019年12月刊行!

村上征勝 [監修]

金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・
阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]

本体 **18,000**円 (+税)

A5 判上製カバー装・850頁
ISBN 978-4-585-20071-0 C3000

文化と情報にかかわる人々必携の一冊!

コンピュータの進歩により、デジタル情報の利用が飛躍的に加速している。
感性や主観が重視されてきた文化の領域でも、
文学・美術・考古・歴史・音楽・芸能をはじめとする
文化資産をデジタル化し、保存・管理や展示を行う技術が進歩し、
またデジタルな分析ツールの発展もめざましい。
文化情報学は個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、
データサイエンスという理系の横の糸で編みあげる
文理融合型のアプローチであり、本書はその集大成である。

文化現象を
データサイエンスで
読み解く総合事典

内容構成

A 領域篇

- A1 文章・文献
- A2 言語
- A3 考古・歴史
- A4 人文地理
- A5 文化・芸術
- A6 身体文化・行動計量
- A7 コンピューター・情報

B データ分析篇

- B1 データ分析の基礎
- B2 量的分析法
- B3 質的分析法

C 分析用ソフト

- 付表 ●索引

※内容構成の詳細は裏面参照

本書の特色

- 「文化」と「情報」に関する文理融合型の総合事典
- 理論から具体的な実践例まで収録した“読む”事典
- 300を超える多くの図表・写真でビジュアルも充実
- 総計100名を超える第一線の研究者・専門家が執筆
- 分析ソフトの紹介と日本語／英語索引で検索も充実

【プロフィール】

[監修]

村上征勝 (むらかみ・まさかつ)

統計数理研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、元同志社大学文化情報学部長。工学博士。研究分野は計量文献学、統計学。主な著書に、『シェークスピアは誰ですか?——計量文献学の世界』(文春新書、2004年)、『文化情報学入門』(勉誠出版、2006年)、『計量文献学の射程』(共著、勉誠出版、2016年)などがある。

[編集]

金明哲 (同志社大学教授)

中園聡 (鹿児島国際大学教授)

赤間亮 (立命館大学教授)

宝珍輝尚 (京都工芸繊維大学教授)

渡辺美智子 (慶應義塾大学教授)

小木曾智信 (国立国語研究所教授)

矢野桂司 (立命館大学教授)

阪田真己子 (同志社大学教授)

芳沢光雄 (桜美林大学教授)

足立浩平 (大阪大学教授)

書名	部数
文化情報学事典 村上征勝 [監修] 金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・ 阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]	本体 18,000円 (+税) A5判上製カバー装・850頁 ISBN 978-4-585-20071-0 C3000 2019年12月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

項目一覧 *項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]

文学・文献の計量分析／計量文献学／計量文体論／平安朝物語の計量分析／西鶴退稿集の著者問題／『今昔物語集』の文体／中古和文における個人文体とジャンル文体／現代日本語の計量文体論／現代文におけるジャンル別の文体的特徴／論述文の文体的特徴／個人の文体変化／文体模倣の計量分析／川端康成の代筆疑惑／社会学におけるテキスト分析／ツイッターにおけるテキストの計量分析／SNSにおける計量テキスト分析／法科学分野の文章の計量分析

[A2 言語]

言語／コーパス言語学／書き言葉コーパス／話し言葉コーパス／学習者コーパス／形態素解析／構文解析／シソーラス／文字コード／方言地図とGIS／社会言語学調査／音声処理／言語系統論／機械翻訳

[A3 考古・歴史]

デジタル化時代の考古学・歴史学／考古遺物の数量分類／考古資料のデジタル記録／考古学における年代測定法・同位体分析／元素分析による土器の産地推定／地磁気による考古学的調査／地中レーダーによる遺跡探査／考古学におけるGIS／水中考古学とデジタル技術の利用／自然人類学と歴史研究／災害考古学／全国遺跡報告総覧／古文書に対する文字認識技術／情報考古学／民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]

学／計量地理学／地理情報システム／地理空間情報／地理情報科学／歴史GIS／地理人文学／ジオ・ビッグデータ（空間ビッグデータ）／景観分析／記憶地図／空間人文学と文学／デジタル地域学

[A5 文化・芸術]

文化・芸術と文化情報学／絵画／工芸品／服飾文化／無形文化のデジタルアーカイブ／映像・ゲーム・映像アーカイブ／出版文化・書物学／書物学（近代）／電子出版／音楽・音響／美術品・考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]

身体文化・行動計量／演劇／ダンス／演奏／お笑い／身体性認知／赤ちゃん学／スポーツバイオメカニクス／他者性／共同作業／アフォーダンス／身体性メディア技術／インタラクション

[A7 コンピューター・情報]

コンピューターと文化情報学／ビッグデータ／ソーシャルネットワーク／機械学習／深層学習／音声認識／デジタルミュージアム／情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]

文化情報学の源一数の発見とコンピューター／データの分類法／データの要約一度数分布表・グラフ・統計量／データに基づく推論／推定と検定／多変量解析

[B2 量的分析法]

量的変数と分析手法／量的データからの統計的推測／重回帰分析／新指標作成のための主成分分析／主成分分析の探索的活用／探索的因子分析／因果構造と検証的因子分析／分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法／テキストマイニングと可視化／潜在トピック分析／イメージマイニングと人工知能／空間統計学／データの欠測値処理

[B3 質的分析法]

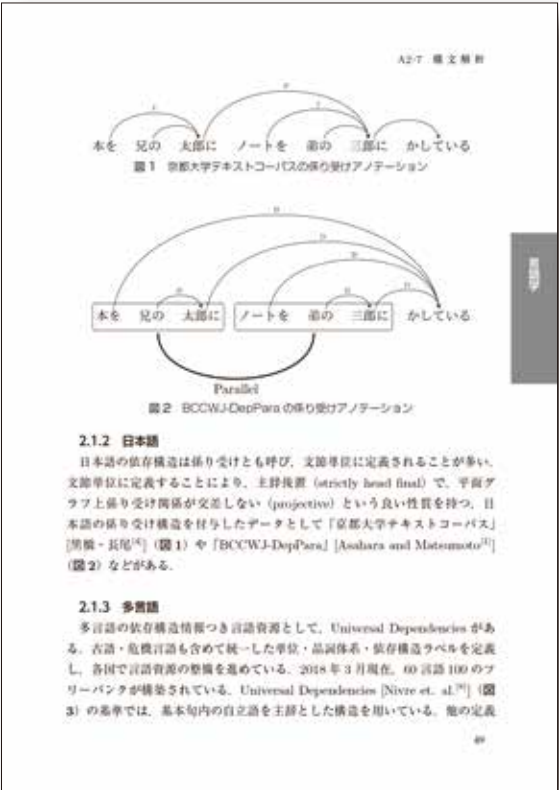
質的分析法／離散変数の分布／比率の推定と検定／適合度検定／分割表の解析／対数線形モデル／ロジスティック回帰分析／潜在クラス分析／数量化Ⅰ類・Ⅱ類／数量化Ⅲ類／対応分析／項目反応理論／文化系統学／計量的文明論一林の数量化Ⅲ類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト／計量テキスト分析のための自由（フリー）ソフトウェアKH Coder／テキスト分析ツールRMeCab／多言語テキスト統計分析ツールMTMineR

●付表 ●索引

本文組見本



2.1.2 日本語

日本語の依存構造は係り受けとも呼び、文節単位に定義されることが多い。文節単位に定義することにより、主幹後置 (strictly head final) で、平面グラフ上係り受け関係が交差しない (projective) という良い性質を持つ。日本語の係り受け構造を付与したデータとして「京都大学テキストコーパス」[岡橋・長尾^[4]] (図1) や「BCCWJ-DepPara」[Asahara and Matsumoto^[5]] (図2) などがある。

2.1.3 多言語

多言語の依存構造情報として、Universal Dependencies⁴がある。古語・危機言語も含めて統一した単位・品詞体系・依存構造ラベルを定義し、各国で言語資源の整備を進めている。2018年3月現在、60言語100のツリーバンクが構築されている。Universal Dependencies [Nivre et. al.^[6]] (図3) の基準では、基本句内の自立語を主幹とした構造を用いている。他の定義

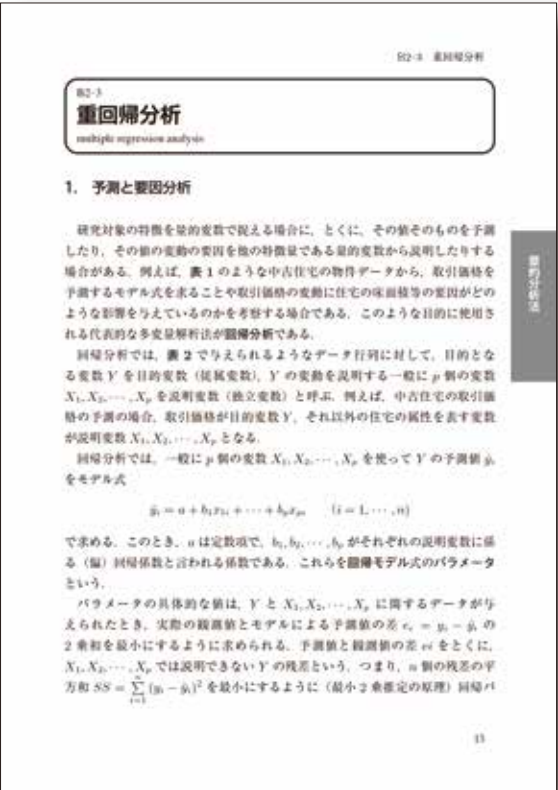


図2-3 重回帰分析

multiple regression analysis

1. 予測と要因分析

研究対象の特徴を量的変数で捉える場合には、とくに、その値そのものを予測したり、その値の変動の要因を他の特徴量である量的変数から説明したりする場合がある。例えば、表1のような中古住宅の物件データから、取引価格を予測するモデルを求めることや取引価格の変動に住宅の床面積等の要因がどのような影響を与えているかを考察する場合である。このような目的に使用される代表的な多変量解析法が重回帰分析である。

重回帰分析では、表2で与えられるようなデータ行列に対して、目的となる変数 Y を目的変数 (従属変数)、 Y の変動を説明する一般に p 個の変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ を説明変数 (独立変数) と呼ぶ。例えば、中古住宅の取引価格の予測の場合、取引価格が目的変数 Y 、それ以外の住宅の属性を表す変数が説明変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ となる。

重回帰分析では、一般に p 個の変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ を使って Y の予測値 $\hat{y}_i$ をモデル式

$$\hat{y}_i = b_0 + b_1x_{i1} + \dots + b_px_{ip} \quad (i = 1, \dots, n)$$

で求める。このとき、 n は定数項、 $b_1, b_2, \dots, b_p$ がそれぞれの説明変数に属する (偏) 回帰係数と言われる係数である。これらを重回帰モデルのパラメータという。

パラメータの具体的な値は、 Y と $X_1, X_2, \dots, X_p$ に関するデータが与えられたとき、実際の観測値とモデルによる予測値の差 $e_i = y_i - \hat{y}_i$ の2乗和を最小にするように求められる。予測値と観測値の差 e_i をとくに、 $X_1, X_2, \dots, X_p$ では説明できない Y の残差という。つまり、 n 個の残差の平方和 $SS = \sum_{i=1}^n (y_i - \hat{y}_i)^2$ を最小にするように (最小二乗法) 重回帰

特定分野の書物をコレクションする図書館「特殊文庫」。
国内外に蔵書を誇り、また古典籍の研究機関として名高い、
大東急記念文庫、東洋文庫、斯道文庫、金沢文庫、静嘉堂文庫の
五館をピックアップし、その魅力・来歴・蔵書を紹介。

五文庫連携展示

『特殊文庫の古典籍
——知の宝庫をめぐり珠玉の銘品と出会う』
と全面タイアップ。

「特殊文庫」を知り、闊歩するための格好のガイドブック。

●特集

特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過去と未来

序言◎村木敬子

大東急記念文庫◎長田和也・村木敬子

東洋文庫◎瀧下彩子・岡崎礼奈・篠木由喜

斯道文庫◎堀川貴司

金沢文庫◎貫井裕恵・梅沢恵

静嘉堂文庫◎成澤麻子

座談会◎斯波義信・西岡芳文・高橋智

附録◎五文庫連携記念特別企画 五文庫の印譜をつくる

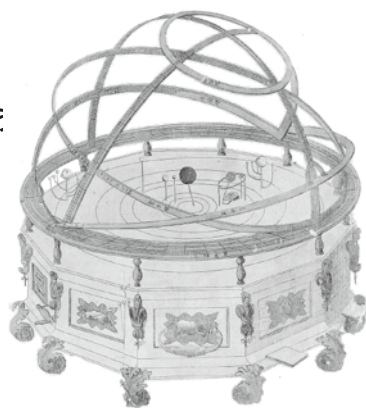
●連載・書物学事始め

英国愛書家の系譜14◎高宮利行

愛書家としての魯迅8◎瀧本弘之

書物の声を聞く 書誌学入門16◎佐々木孝浩

江戸時代の古文書の読み16◎白川部達夫



書物学 16

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

本体 一、五〇〇円(+税)
B5判並製・九六頁(フルカラー)
二〇一九年六月刊行
ISBN978-4-585-20716-0 C1000

書名	部数
書物学 16 特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過去と未来 編集部[編]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

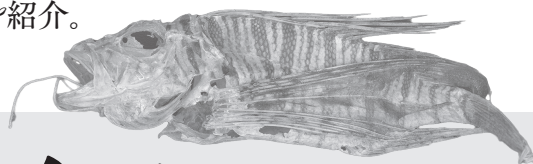
勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

書物を集め、愛でた人々、そして、海を越えて伝えられた蔵書に秘められたドラマを描き出す。

日本古典籍はその残存状況の良さ、
また、美麗且つ内容が豊富であることから、
世界各地にコレクションとして伝存している。
本特集では、欧米の著名なコレクションから、
ハワイ大学、ホノルル美術館、アメリカ議会図書館、UCバークレー、
ケンブリッジ大学、オックスフォード大学という
名だたる所蔵機関の特色ある蔵書を紹介。



●特集

蔵書はめぐる

海外図書館の日本古典籍コレクション

個人蔵書のゆくえ◎横山學

「東西の十字路」楽園ハワイの中の古典籍とその来歴

——ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部日本文庫から◎バゼル山本登紀子

古典籍もART——ホノルル美術館収蔵和古書と作品整理について◎カワイアエア幸代

米国議会図書館日本古典籍コレクションの来歴と「北方資料」◎伊東英一／キャメロン・ペンウェル

太平洋を渡った日本古典籍

——カリフォルニア大学バークレー校C. V.スター東アジア図書館コレクション◎マルラ俊江

蔵書を通して見る日本との出会い

——オックスフォード大学ボドリアン図書館の和古書コレクション◎イズミ・タイトラー

アーネスト・サトウと武家故実資料

——ケンブリッジ大図書館古典籍コレクションの来歴の一端をさぐる◎小山騰

【連載】書物学ことはじめ

【新連載】書籍はどう動いたのか

——近代書籍流通史料の世界◎磯部敦

書物の声を聞く 書誌学入門◎佐々木孝浩

江戸時代の古文書の読み方◎白川部達夫

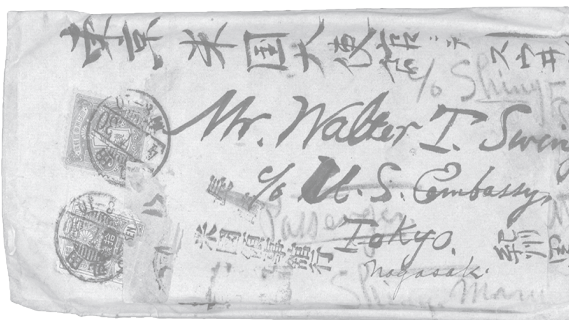
愛書家としての鲁迅◎瀧本弘之

西洋古書の遠近法◎雪嶋宏一

英国愛書家の系譜◎高宮利行

【特別寄稿】

小説の連続性と英詩の役割◎野網摩利子



書物学 18

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

本体一、八〇〇円＋税
B5判並製・二二〇頁（フルカラー）
二〇二〇年七月刊行
ISBN978-4-585-20718-4 C1000

書 名	部 数
書物学 18 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション 編集部[編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

本体 1,800円（＋税）
B5判並製・120頁（フルカラー）
2020年7月刊行
ISBN978-4-585-20718-4 C1000



書物学 第16巻 特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過去と未来

編集部 編

国内外に蔵書を誇り、また古典籍の研究機関として名高い、大東急記念文庫、東洋文庫、斯道文庫、金沢文庫、静嘉堂文庫の5館をピックアップし、その魅力・来歴・蔵書を紹介。

本体 1,500 円 2019年7月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20716-0 C1000



書物学 第15巻 金属活字と近代

編集部 編

活字鑄造と近代印刷技術の発展に寄与したウィリアム・ギャンブル。活字見本や印刷物などの貴重史料の紹介とともにその足跡をたどり、近代日本の印刷技術の道程を明らかにする。

本体 1,500 円 2019年4月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20715-3 C1000



書物学 第14巻 贋作・偽作

編集部 編

シェイクスピアの贋作と出版社の経営戦略、著者の願望を反映した荒唐無稽な歴史記述、「改善」とのたまう過剰な編集介入など、「偽り」の背景に渦巻く人間模様を暴く。

本体 1,500 円 2018年12月 刊行

B5判並製 112頁 ISBN 978-4-585-20714-6 C1000



書物学 第13巻 学問の家の書物と伝授 清原家の営為を探る

編集部 編

清原家の蔵書は、累代の学問の家の営為を今に伝えるものである。儒教經典の考究に関する経書をはじめ、幼学書や兵書、御成敗式目等、幅広い典籍を多数のカラー図版とともに紹介。

本体 1,500 円 2018年8月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20713-9 C1000



書物学 第12巻 江戸初期の学問と出版

編集部 編

古活字版、高野版、勅版、嵯峨本…。日本の出版史においても特筆すべき典籍や印刷技術、その素地となる学問の系譜が凝縮された近世初期の様相を、多角的な視点であぶり出す。

本体 1,500 円 2018年2月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20712-2 C1000



書物学 第11巻 語りかける洋古書

編集部 編

シェイクスピア戯曲の本文、光輝く中世写本、尾崎紅葉とアメリカの娯楽小説一。現存する洋古書の声を聴き、昔歳の書物の文化とその様相を垣間見る。

本体 1,500 円 2017年8月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20711-5 C1000



書物学 第10巻 南方熊楠生誕150年

編集部 編

南方熊楠の読書体験の実態は如何なるものであったのか。熊楠をめぐり、人びとそして書物はどのように動いたのか。熊楠の新たな側面を紹介する。

本体 1,500 円 2017年3月 刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20710-8 C1000



書物学 第9巻 江戸の欲望／江戸という欲望

編集部 編

われわれは江戸に何を見ようとしているのか？ 当時の人びとは何を創り出そうとしてきたのか？ 現実と虚構が錯綜し、欲望が新たな世界像を作り出していく様相を複眼の視点から考察する。

本体 1,500 円 2016年10月刊行

B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20709-2 C1000



書物学 第8巻
**国宝 称名寺聖教／
 金沢文庫文書**

編集部 編

2016年、国宝指定！
 中世の息吹を現代に伝えるタイムカプセル、称名寺聖教／金沢文庫文書の魅力に迫る。

本体 1,500 円 2016年8月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20708-5 C1000



書物学 第7巻
医書の世界

編集部 編

医学にまつわる「知」はいかにして書きとどめられ、伝播していったのか。東洋医学と西洋医学の邂逅はどのような変化をもたらしたのか。医書の世界をかいま見、歴史の一端をたどる。

本体 1,500 円 2016年3月 刊行
 B5判並製 92頁 ISBN 978-4-585-20707-8 C1000



書物学 第6巻
「書」が語る日本文化

編集部 編

短冊、古筆切、和刻法帖、書の売買資料など、見過ごされてきた資料から「書」と日本文化の関わりに光を当てる。鼎談では、累代の博士家・清原家の営みを伝える資料を紹介。

本体 1,500 円 2015年11月 刊行
 B5判並製 112頁 ISBN 978-4-585-20706-1 C1000



書物学 第5巻
洋古書の愉悅

編集部 編

シェイクスピアが種本として使用したホリンシェッド『年代記』、深淵なる「目録」の世界…。多くの貴重な書籍は、どのように印刷・出版され、どのように蒐集され、今に伝わったのか。

本体 1,500 円 2015年7月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20705-4 C1000



書物学 第4巻
出版文化と江戸の教養

編集部 編

江戸時代に花咲いた出版文化のなかで、「教養」はどのように人びとの中に浸透していったのか。書物の世界を読み解く多角的な視点を提供する。

本体 1,500 円 2015年2月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20704-7 C1000



書物学 第3巻
書物とエロス

編集部 編

春本や男色、密教における性の問題を文化史上に位置づけるエッセイを収載。書物世界を闊歩する先達による連載も充実。ここでしか読むことの出来ない書物文化の世界への水先案内。

本体 1,500 円 2014年8月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20703-0 C1000



書物学 第2巻
書物古今東西

編集部 編

世界三大宗教の思想を伝える書物をはじめ、忍術書や艶本、アジア世界に生まれた擬似漢字による典籍、そして電子書籍まで、洋の東西を越え、古今の書物文化の海を航海する。

本体 1,500 円 2014年5月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20702-3 C1000



書物学 第1巻
書物学こと始め

編集部 編

愛書家とともに、洋の東西を隔てず、現在・過去・未来にわたる書物論議を展開する場。書物を研究し書物を愛でる人々による『書物学』創刊！

本体 1,500 円 2014年3月 刊行
 B5判並製 96頁 ISBN 978-4-585-20701-6 C1000